

シラバス参照

講義名	人間の尊厳と自立
代表ナンバリングコード	0000222201
講義区分	講義
基準単位数	2
必修区分	必修(健康福祉)、選択(児童学、キャリア)
配当年次	3 Semester (2年次春学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科児童学コース	0000212601
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222201
ライフデザイン学科キャリアデザインコース	0000232702

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福嶋 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標	① 医療技術など科学の進歩に伴う、人間観の変化や多様な考え方を理解することができる。 ② 人間の尊厳と自立を中心に、現代人として必要な倫理観、自立観を形成することができる。 ③ 自分自身の倫理観に基づいた考え方を、他者に説明することができる。
授業概要	・ 演習形式の講義を行う。高齢化や家族観の変化に伴う死生観の変容、医療技術の進歩による生命・倫理観の多様化と専門的支援のあり方を学ぶ。 ・ 演習形式の授業なので遅刻、授業開始後の入室は認めない。 ・ 授業中の携帯電話、スマートフォンの使用は一切認めない。発見した場合、当該日は欠席扱いにする。 ・ 演習形式の授業なので、積極的に議論に参加すること。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）

第1回	ガイダンス 講義の進め方や成績の評価方法、この講義の基本的考えを説明する。	【講義形式】【成績評価法】	予習：「尊厳」「自立」という言葉の意味を調べる(90分) 復習：自立することの意味を理解する。(90分)
第2回	尊厳、自立とはなにか。	【人間とは】	予習：人間とはなにかを調べる。(90分) 復習：社会的存在としての人間を理解する。(90分)
第3回	人間とはなにか 多様な自立観を考える(1)	【自立と自律】	予習：「自立」と「自律」の違いを調べる。(90分) 復習：自立することの意味をまとめる。(90分)
第4回	人間とはなにか 多様な自立観を考える(2)	【自立と自律】	予習：「自立」と「自律」の違いを考える。(90分) 復習：どのような状態を自立と言うのかを考える。(90分)
第5回	なぜ専門家は尊厳を大切にしなければいけないか。	【尊厳】	予習：「尊厳」という言葉の意味を調べる。(90分) 復習：なぜ尊厳を大切にしなければいけないのかを考える。(90分)
第6回	命の大切さを考える(1) 臓器移植を通して命を考える	【脳死の定義・心臓死】	予習：臓器移植、脳死について調べる。(90分) 復習：臓器移植の意味を考える。(90分)
第7回	命の大切さを考える(2) 臓器移植を通して命を考える	【脳死・尊厳死・延命医療】	復習：臓器移植の是非について、命について考える。(180分)
第8回	支援が必要な人の自立を考える(1) 「こんな夜更けにバナナかよ」(渡辺一史 著)を通して	【自立とわがまま】	予習：障害者の自立について調べる。(90分) 復習：障害者の自立を考える。(90分)
第9回	支援が必要な人の自立を考える(2) 「こんな夜更けにバナナかよ」(渡辺一史 著)を通して	【依存とわがまま】	予習：自立と依存の関係について調べる。(90分) 復習：自立と依存は併存可能かを考える。(90分)
第10回	人工中絶・着床前診断を通して尊厳と命を考える(1)	【生命・倫理】	予習：着床前診断に関する諸情報を調べる。(180分)
第11回	人工中絶・着床前診断を通して尊厳と命を考える(2)	【生命・倫理】	復習：診断の意味、是非を考える。(180分)
第12回	延命と尊厳死を考える(1)	【延命・尊厳死・QOL】	予習：尊厳死という言葉の意味を調べる。(90分) 復習：尊厳死の是非と命について考える。(90分)
第13回	延命と尊厳死を考える(2)	【延命・尊厳死・QOL】	復習：現代社会における、尊厳死の意味や是非について考える。(180分)
第14回	QOLを考える	【支援とQOL】	予習：QOLの意味を調べる。(90分) 復習：なぜQOLが大切なのかを考える。(90分)
第15回	まとめ	【尊厳と自立】	復習：「尊厳」「自立」が人間にとって大切なのかを考える。(180分)
第16回	定期試験(レポート)		

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	50%
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	50%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項 特になし

備考 実務家教員(生活指導員)

シラバス参照

講義名	人間関係とコミュニケーションb
代表ナンバリングコード	0000221201
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221201

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	○

本科目の到達目標	① 介護福祉士として、専門的な介護関係の構築に必要なコミュニケーションの基本的な考え方が説明できる。 ② 基本的なコミュニケーション技術が実践できる。
----------	--

授業概要	介護実践の場で必要となるコミュニケーションの基礎について学修します。個別やグループワーク演習などを通して主体的な自己の形成について学び、介護福祉士としての基本的な態度を修得します。したがって、社会福祉・介護福祉の専門的な人間関係の構築や維持のために必要な幅広いコミュニケーション技術の基本的な知識を学びます(国家試験の対応科目です)。
------	---

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【オリエンテーション】 【自己紹介】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する(50分) 復習：ノートの再読(90分)
第2回	コミュニケーション技術の基本①	【コミュニケーションの技術】 【自己理解】【他者理解】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第3回	コミュニケーション技術の基本②	【利用者との対人関係】 【リーダーシップ】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)

		【フォローシップ】	
第4回	コミュニケーション技術の基本③	【家族との対人関係】 【ラポール】 【グループワーク】	予習：信頼関係について、考察し、まとめる(90分) 復習：ノートを再読し、課題を調べまとめる(90分)
第5回	コミュニケーション技術の基本④	【介護福祉士のコミュニケーション】 【アセスメント】 【グループワーク】	予習：挨拶など日常的なコミュニケーションを意識し、態度、表情について実践する(90分) 復習：語句を覚え、理解する(90分)
第6回	コミュニケーション技術の応用①	【言語的コミュニケーション】 【非言語的コミュニケーション】	予習：言語・非言語のコミュニケーションについて調べる(90分) 復習：ノートを整理し、まとめる(90分)
第7回	授業内試験(レポート)	【中間まとめ】	予習：これまでの学習の復習(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第8回	コミュニケーション技術の応用②	【話を聴く態度】 【受容】 【共感】 【傾聴】	予習：受容、共感、傾聴について調べ、まとめる(90分) 復習：技術について理解し、日常生活から受容、共感、傾聴を実践する(90分)
第9回	コミュニケーション技術の応用③	【コミュニケーションと環境】 【状況に応じたコミュニケーション】 【チームマネジメント】	予習：カウンセリングについて調べ、まとめる(90分) 復習：人間の生活と環境について調べ、まとめる(90分)
第10回	総合的なコミュニケーション①	【利用者の状況に応じたコミュニケーション】 【組織とは、組織の運営管理】	予習：認知症について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題を調べまとめる(90分)
第11回	総合的なコミュニケーション②	【環境に応じたコミュニケーション】 【人材育成、人材管理】	予習：介護保険施設について調べる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第12回	総合的なコミュニケーション③	【利用者の状況に応じたコミュニケーション】 【環境に応じたコミュニケーション】	予習：障害者支援施設について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第13回	総合的なコミュニケーション④	【観察と記録】 【記述によるコミュニケーション】	予習：観察と記録について調べ、まとめる(90分) 復習：レポートを読み、校正する(90分)
第14回	総合的なコミュニケーション⑤	【道具によるコミュニケーション】	予習：コミュニケーションを手伝う福祉機器について調べ、まとめる(90分) 復習：聴覚・言語障害について調べ、まとめる(120分)
第15回	授業内試験(筆記)	【まとめ】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(100分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	70%
課題(レポートなど)	10%
各回のコメントシート	10%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	10%
その他	-

評価の方法(詳細)	中間まとめ(レポートまたは筆記)…30% 最終まとめ(レポートまたは筆記)…40%
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了前にミニツツペーパーを実施します グループワーク
備考	授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもあります。その際、授業等で連絡します。

シラバス参照

講義名	人間関係とコミュニケーション演習 A
代表ナンバリングコード	0000202108
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)、選択(児童学、キャリア)
配当年次	4セメスター(2年次秋学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科	0000202108
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222203

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 原田 直子	びわこ学院大学 教育福祉学部

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	○

本科目の到達目標	① 聴覚障害者の基本的理解と、基本的コミュニケーション技術を習得できる。 ② 聴覚障害者は見えない障害。説明してもわかりにくいので、聴覚障害者の生活の様子がみられるDVDを見て気付いたことをみんなで出し合ってまとめるなどして理解できる。 ③ DVDを使って【聞こえ】を体験して、聞こえのタイプがあると理解し、聴覚障害者コミュニケーション手段(手話、指文字、身振り、指差しなど)を適切に選択して話すことができる。 ④ 盲ろう者、中途失聴者などのコミュニケーション手段(触手話、プリスタ、筆談など)も含めて、授業が始まってから普段交わされる言葉を換えられるあらゆる伝達手段について学び、さまざまな聴覚障害者に通じる伝達手段をさがして伝えることができる。
授業概要	社会生活を営む人間の間に行われる、視覚、文字、絵等を媒体として伝える形「ソフト面」と、聴覚障害者が安心して過ごせる設備、備品等の「ハード面」についても学ぶ。必要に応じて資料(コピー)を配布、ビデオやDVDも使う。 聴覚障害者施設現場の福祉、労働、教育に関する業務の理解を目的とする学外授業も実施する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 自己紹介	【指文字】	自分の名前の指文字を覚える(復習180分)
第2回	聴覚障害について	【ビデオ】「耳の構造」 聞こえない人の「耳」を知る	「みんなの手話」「#ハートネットTVろうなん~ろうを生きる難聴を生きる」番組を毎回見る(60分)

			「たっちゃんと学ぼう」を読む(予習60分 復習60分)
第3回	聴覚障害者のコミュニケーション	【ビデオ「聴覚障害者の生活」】を見て気付いたことを出し合ってまとめる	「たっちゃんと学ぼう」を読む(予習60分 復習60分) 「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分)
第4回	口話で話してみましょ う	【口話するときの注意点】	身の回りにあるものや動きを観察する(毎日起床~就寝まで 観察する 計180分以上) 「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分)
第5回	手話で話してみましょ う	実技【身振り】【表情】【指さし】	「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分) 歌を歌うまでの準備(タイトルを決める 表現を考える 手の振りを描く)をして練習する(予習60分 復習60分)
第6回	手話で話してみましょ う	実技【数字】【家族】	「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分) 実技「数字」「家族」(復習120分)
第7回	手話で話してみましょ う	実技【仕事】【いつ】	「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分) 実技「仕事」「いつ」(復習120分)
第8回	手話で話してみましょ う	実技【どこ】	「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分) 実技「どこ」(復習120分)
第9回	手話で話してみましょ う	実技【時の表し方】【歌】	「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分) 実技「時の表し方」(復習120分)
第10回	絵描きで伝えてみましょ う	【ビデオ】を見る 【絵描きの注意点】	家にあるものを観察して描く(120分) 「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分)
第11回	筆談で伝えてみましょ う	【筆談方法】	きれいに書く練習をする(120分) 「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分)
第12回	中途失聴者、盲ろう者 のコミュニケーション	【会話方法】 【通訳・介助の方法】について学習後 演習する	図書室の手話本をみて覚える(120分) 「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分)
第13回	福祉制度などについて 歌を歌う	【各種機器】の紹介 【歌(ビデオ撮り)】	歌を練習する(120分) 「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分)
第14回	学外授業(その他特記 事項参照)	【施設見学】	見学后感想文を書く(180分)
第15回	スピーチ	【「おさらい」(ビデオ撮り)】	「みんなの手話」「ハートネットTV#ろうなん~ろうを生 きる難聴を生きる」番組を見る(60分) 習ったことを使ってスピーチできるように スピーチの内 容を考えて書いて練習する(120分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税 込)
1	たっちゃんと学ぼう	一般財団法人 全 日本ろうあ連盟	日本印刷株式会社	-----	220円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	60%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	10%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	15%
授業への意欲・姿勢	15%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項

学外授業・・・場所や日程については後日連絡します。時間割の調整により、他の曜日になる場合があります。
学外授業のための交通費・・・自宅からJR草津駅までの交通費

シラバス参照

講義名	人間関係とコミュニケーション演習B
代表ナンバリングコード	0000202109
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	4セメスター(2年次秋学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科	0000202109
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222204

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 前田 眞里	びわこ学院大学 教育福祉学部

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	○

本科目の到達目標	本講義では、初めて視覚障がい者への接し方を学ぶ人を対象とし、支援する上で必要とされる全般的な基礎知識と技術を身につけるとともに、「相手に共感する気持ちや、多様性を認めあう」そじを育むことを目標としています。具体的には、 ① 初級レベルの点字が読み書きできる。 ② 点字に関する道具やパソコン関連機器が操作できる。 ③ 同行援護・ガイドヘルプができる。 ④ 文字を音声化する技術を身につけることができる。
授業概要	ワークショップ、実技(学外実技を含む)を通して、触覚や聴覚を中心とした「五感機能」の役割について体験します。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	見えない・見えにくいとは?	【全盲と弱視】 【眼の病気】	復習:(配布資料の読み返し(45分))
第2回	白杖とリハビリテーション	【城杖】 【障害の受容】	予習:配布資料の読み返し(30分) 復習:配布資料の読み返し(30分)

第3回	盲導犬ユーザーの生活と接し方	【身体障害者補助犬法】 【障害者差別解消法】	予習：配布資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第4回	ロウビジョンとは。そのサポート	【弱視】 【ロウビジョン】	予習：配布資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第5回	同行援護従業者の主な業務	【情報提供支援】 【代筆・代読業務】	予習：配布資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第6回	同行援護従業者の実線 その1	【移動支援業務】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第7回	同行援護従業者の実践 その2	【周囲の情報提供業務】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第8回	同行援護従業者の実践 その3	【応用】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第9回	点字の歴史と仕組みについて		予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第10回	点字で数字とアルハベットを書こう		予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第11回	点字で文章を書こう その1		予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第12回	点字で文章を書こう その2		予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第13回	点字でキャンパスのバリアフリー	【バリアフリー】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第14回	スポーツを通してのバリアフリー体験	【サウンドテーブルテニス】 【ブラインドマラソン】 【フロアバレーボール】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：配布資料の読み返し(30分)
第15回	音楽、映画鑑賞など趣味を通してのバリアフリー体験	【カラオケ・歌唱教室】 【楽器演奏】 【副音声付映画】	課題：感想文 予習：資料の読み返し(45分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	点字はやわかり(新版)		京都ライトハウス	-----	205円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	30%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	40%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯用点字器(6行書き30マス) 880円(非) (学校でも貸し出します。) ○ロービジョンキット 210円 (見えにくさや視野狭窄を簡単に体験できる、自分で作るシミュレーションキット。) ○その他、点字印刷代金、学外実技交通費等 1,000円 (残金は返却します)
その他特記事項	<p>担当教員が視覚障がいのため、資料配布、移動介助等、学生のみなさんにはアシストいただきますよう宜しくお願いします。</p> <p>講義中のスマホ・携帯電話の使用や、講義に無関係なおしゃべりをする学生はご遠慮ください。</p> <p>アクティブラーニング(グループワーク、ロールプレイング、シミュレーション)</p>

シラバス参照

講義名	生活と福祉
代表ナンバリングコード	0000221206
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)、選択(児童学、キャリア)
配当年次	2 Semester (1年次秋学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科児童学コース	0000211207
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221206
ライフデザイン学科キャリアデザインコース	0000231505
ライフデザイン学科	0000231706

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標	① 生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ② 少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。
----------	---

授業概要	人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられます。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学びます。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となります。
------	--

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【授業概要】 【ルール】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。(50分) 復習：ノートの再読(90分)

第2回	生活と福祉	【福祉ニーズ】【社会保障】 【生活】 【家族】 【地域社会】 【組織】	予習：現代社会における福祉の課題を調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第3回	社会福祉の理論①社会福祉と社会保障	【社会福祉の制度】 【社会保障の考え方】 【社会保障制度の発達】	予習：社会福祉の定義について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第4回	社会福祉の理論②社会保障論	【日本の社会保障制度の仕組み】	予習：社会保険制度について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第5回	社会福祉の理論③相談支援	【相談援助の理論】 【ケースワーク】	予習：ケースワークについて調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第6回	社会福祉の理論④相談支援	【権利擁護】 【利用者保護】	予習：人権について考察し、課題をまとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第7回	授業内試験(筆記)	【中間まとめ】	予習：これまでの学習の復習(90分) 復習：振り返り(90分)
第8回	高齢者に対する支援①	【介護保険制度創設の背景・目的】 【介護保険制度の概要】	予習：高齢者社会について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第9回	高齢者に対する支援②	【介護保険制度の動向】 【介護保険制度にかかわる組織・専門職】	予習：介護保険制度について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第10回	子どもに対する支援①	【少子化】 【子育て支援】	予習：少子化の特徴について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第11回	子どもに対する支援②	【障がいのある子ども】 【ソーシャルインクルージョン】	予習：障がいのある子どもの生活について、新聞等から調べる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第12回	福祉にかかわる諸制度①	【虐待】 【権利擁護】	予習：虐待の状況について、新聞等から調べる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第13回	福祉にかかわる諸制度②	【保険・医療】 【健康日本21】	予習：健康について概念を整理し、自分の老後について考察する(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第14回	福祉にかかわる諸制度③	【生活保護】	予習：生活保護について新聞等から調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(120分)
第15回	授業内試験(レポート)	【振り返り】	予習：これまでの学習の復習(120分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	70%
課題(レポートなど)	10%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	20%
その他	-

評価の方法(詳細)	まとめ(筆記又はレポート)…40% 中間まとめ(筆記又はレポート)…30%
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了前にミニッツペーパーを実施します。 レポート課題等は適宜連絡します。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもあります(授業内で連絡します)。

シラバス参照

講義名	社会保障制度総論
代表ナンバリングコード	0000221202
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)、選択(児童学、キャリア)
配当年次	1年次(1年次春学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科児童学コース	0000211601
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221202
ライフデザイン学科キャリアデザインコース	0000231703

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福嶋 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標	① 社会保障制度を体系的に理解ができる。 ② 社会保険制度を理解し、社会資源の活用力をつける。 ③ 社会の変化と社会保障制度の関係について理解できる。
----------	---

授業概要	現代社会におけるセーフティーネットとしての社会保障の目的、機能を講義し、少子高齢社会のわが国の社会保障の課題について考察する。とりわけ、年金、医療、介護、福祉サービスを体系的に理解する力を獲得する。
------	---

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	現代社会における社会保障の意義	【税と社会保障の一体改革・新自由主義】	予習：社会保障とはなにかを調べる。(90分) 復習：自分自身が利用した社会保障制度を確認する。(90分)

第2回	日本の社会保障の発達(1) 戦前	【社会保障の目的】	予習：戦前、どのように福祉課題を解決していたのかを調べる。(90分) 復習：戦前と戦後の制度の違いを調べる。(90分)
第3回	日本の社会保障の発達(2) 戦後	【社会の変化と社会保障】	予習：戦前、戦後の社会の変化について調べておく。(90分) 復習：社会保障制度の変化と社会の変化の関連性を調べる。(90分)
第4回	社会の変化と家族機能の変化(1)	【大家族・核家族・単身世帯の増加】	予習：家族の変化について予習をする。(90分) 復習：居住地の家族形態について調べる。(90分)
第5回	社会の変化と家族機能の変化(2)	【少子化・高齢化社会】	予習：少子高齢化のメカニズムについて予習をする。(180分) 復習：少子高齢化にともなう身近な問題を考える。(180分)
第6回	社会の変化と家族機能の変化(3)	【家族機能・地域機能】	予習：家族の機能とは何なのかを予習すること。(90分) 復習：家族の機能にともなう身近な問題を考える。(90分)
第7回	諸外国の社会保障制度(1)	【産業革命・社会保険の登場】	予習：社会保険が必要になってきた背景を調べる。(90分) 復習：社会保険と自らの人生の関係を学ぶ。(90分)
第8回	諸外国の社会保障制度(2)	【産業革命・社会保険の登場】	予習：資本主義の台頭と社会保障の関連について調べる。(90分) 復習：社会体制の違いと社会保障の関連について調べる。(90分)
第9回	諸外国の社会保障制度(3)	【資本主義と社会保障】	予習：資本主義とは何かを調べる。(90分) 復習：社会体制の種別について調べる。(90分)
第10回	社会福祉と社会保障(1)	【社会保障と社会福祉】	予習：社会保障の社会的位置づけについて調べる。(90分) 復習：ライフコースにおける社会保障制度の意味を調べる。(90分)
第11回	社会福祉と社会保障(2)	【社会保険・社会の変化】	予習：社会の変化と社会保険の関連について調べる。(90分) 復習：社会の変化と社会保険の因果関係について調べる。(90分)
第12回	社会保障の課題(1)	【負担と給付】	予習：国家予算に占める社会保障費について予習する。(90分) 復習：国民の負担と社会保障制度の関係について調べる。(90分)
第13回	社会保障の課題(2)	【負担と給付】	予習：社会保障費の推移について予習する。(90分) 復習：社会保障関係費の変化と社会の変化の関係について調べる。(90分)
第14回	社会保障と負担	【消費税】	予習：少子高齢化と社会保障費の負担、の関係について調べる。(90分) 復習：社会保障関係費の変化と少子高齢化の関係について調べる。(90分)
第15回	まとめ		復習：社会保障制度の必然性について、理解する。(180分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	85%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	15%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項 特になし

シラバス参照

講義名	現代基礎教養（社会）A
代表ナンバリングコード	0000201101
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1 Semester (1年次春学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科	0000201101
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221203

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 光川 康雄	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	—
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標	① 社会分野における基礎的な用語・知識を理解し、社会人としての教養を身につけることができる。
授業概要	・短期大学において学修を進める際に習得しておくべき事項、とりわけ現代社会人の教養として必要な社会分野に即して講義する。 ・授業で取り上げたテーマについてグループ討議を行い、他者の考えを知るとともに自らの考えを深め

る。
 ・原則として、講義(70分)、前時間の復習(10分)、講義振り返りレポートの作成(10分)とする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	ガイダンス(進め方、総論) 自己紹介 図書館の活用方法(情報の収集と整理)	【授業方針や授業内容等についての説明】 【新聞・雑誌の記事】 【マスコミ情報や関心・興味のあるテーマと話題】 【SDGsなど】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(30分) 復習: 講義内容を整理し今後の計画を立てる(30分)
第2回	私たちの暮らしと法律 (ディスカッション)	【日本国憲法】 【立憲主義】 【法治国家】 【三権分立】 【国会の立法権】 【裁判制度】 【裁判員裁判】 【公務員(国家)(地方)】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第3回	政治①・国の施策と税金 (ディスカッション)	【主権在民(国民主権)】 【議員(衆議院・参議院)(県・市町)】 【民主(主義)政治】 【国民の義務】 【納税と税の分担】 【直接税】 【間接税】 【国債】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第4回	政治②・選挙と議員報酬 (ディスカッション)	【選挙制度】 【公職選挙法の改正】 【国会の役割】 【地方議会の役割】 【政治資金】 【議員報酬】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第5回	政治③・国際社会と政治の基礎知識 (ディスカッション)	【国際法】 【国際連合】 【外交政治】 【隣国関係】 【戦争・国際紛争】 【安全保障】 【憲法9条】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第6回	地域と社会経済①・暮らしと経済 (ディスカッション)	【給料】 【家賃】 【食費】 【光熱水費】 【滋賀県】 【東近江市】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理とまとめ(120分)
第7回	地域と社会経済②・アルバイトとローン (ディスカッション)	【最低賃金】 【割増賃金】 【ローン】 【金利】 【預金と投資】 【大学における授業の単価】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第8回	地域と社会経済③・働き方と見える給料・見えない給料 (ディスカッション)	【正規雇用(正社員)】 【派遣社員】 【パート・アルバイト雇用】 【契約労働】 【労働者災害補償保険】 【雇用保険】 【健康保険】 【福利厚生】 【ブラック企業】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第9回	政治と社会保障①・働き続けられる職場 (ディスカッション)	【基本給と手当】 【労働基準法】 【労働安全衛生法】 【ハラスメント】 【働き甲斐】 【保育所問題】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第10回	政治と社会保障②・若者と保険(年金等) (ディスカッション)	【国民年金と厚生年金】 【老齢基礎年金】 【障害基礎年金】 【遺族基礎年金】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理とまとめ(120分)
第11回	社会問題①・エネルギーと環境問題 (ディスカッション)	【温暖化】 【原子力発電】 【地域紛争】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理(90分)
第12回	社会問題②・暮らしと子どもを守る/貧困、虐待 (ディスカッション)	【社会保障】 【セーフティーネット】 【生活保護】 【教育の保障】 【虐待】	予習: 新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習: 講義内容の整理とまとめ(120分)

第13回	社会問題③・私らしく生きる／LGBT、民族差別 (ディスカッション)	【LGBT】【身体の性】【心の性】 【パートナー条例】【ネット社会】 【ハラスメント】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第14回	社会問題④・超高齢社会 (ディスカッション)	【老人の再定義】【年金】【貧困老人】【フリーランス】 【下流志向】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第15回	社会問題⑤・グローバリズムとナショナリズム (ディスカッション)	【SDGs】【宗教】【多国籍企業】【経済圏】【自国主義】 【難民問題】【ヘイトスピーチ】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	社会を知るためには	筒井淳也	筑摩書房	9784480683823	924円

参考書・参考資料等

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	教育の原理—歴史・哲学・心理学からのアプローチ—	光川康雄・中川吉晴・井上智義	樹村房	9784883672615	2090円

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	20%
各回のコメントシート	30%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 費用が必要な場合は学生の自己負担とします。

その他特記事項

・授業ではグループワークやディスカッションを行いません。
・授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、講義の進め方や内容、計画を変更することもあります。

シラバス参照

講義名	現代基礎教養（数学）
代表ナンバリングコード	0000201106
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2 semester (1年次秋学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科	0000201106
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221207

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 長嶺 共全	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	—
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標	① 日常生活にも卒業後の仕事にも「数学的な考え方」が必要であることを理解することができる。 ② 数学の基本的な概念と技能を用いて論理的な思考ができる。
授業概要	数の計算、代数の基礎、方程式と不等式、図形などの学習を通して、数の本質を学び、関連する演習問題を解くことで、これまで身につけてきた「数学的な考え方」についての理解を深めるとともに、公務員試験や企業の入社試験などで頻りに出題されている問題なども講義に取り入れ、様々な場面において「数学的な考え方」を主体的に活用することの有用性に気づかせる。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）

第1回	授業オリエンテーション 数について	【授業方針の説明】【自然数】【整数】【分数】【小数】 【正の数】【負の数】【有理数】【無理数】【進法】【実数】	復習：学習したところの教科書再読(90分)
第2回	数の計算	【四則】【加法・減法・乗法・除法】【計算の順序】【素数】 【最小公倍数】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第3回	数の計算	【最小公倍数】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第4回	代数の基礎	【比率】【逆数】【文字式】【指数】【単位】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第5回	方程式と不等式	【1次不等式】【数直線】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第6回	方程式と不等式	【1次方程式】【解】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第7回	方程式と不等式	【グラフと領域】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第8回	方程式と不等式	【2次方程式】【因数分解】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第9回	方程式と不等式	【2次関数】【多項式】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第10回	連立方程式～計算問題～	【連立方程式】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第11回	連立方程式～文章問題～1	【文章問題】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第12回	連立方程式～文章問題～2	【割合】【濃度】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第13回	特殊な計算	【鶴亀算】【植木算】【年齢算】【濃度】【旅人算】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分) 理解度小試験(筆記)対策のため教科書と配布プリントの再学習(270分)
第14回	まとめ1(理解度確認小試験)	【理解度確認小試験(筆記)】	予習：理解度小試験(筆記)対策のため教科書と配布プリントの再学習(500分) 復習：理解度小試験(筆記)の振り返り(180分)
第15回	まとめ2(理解度確認小試験)	【理解度確認小試験(筆記)】	予習：理解度小試験(筆記)対策のため教科書と配布プリントの再学習(580分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	数学の基本	小林敬子、松原望	ベレ出版	9784860641672	1,650円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	80%
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	5%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項 本授業では、新たな学習内容に対して、その内容を確かめる課題演習や理解度確認小試験を行いながら、授業を進めるアクティブラーニングの手法を取り入れていく。

シラバス参照

講義名	レクリエーション論
代表ナンバリングコード	0000221204
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1 Semester (1年次春学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科児童学コース	0000211602
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221204
ライフデザイン学科キャリアデザインコース	0000231704

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	○
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	—
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標	① 現代社会におけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。 ② レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。
授業概要	社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得します。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【授業方針や授業内容および評価についての説明】 【自己紹介】	予習：シラバスの確認(90分) 復習：授業計画の整理・確認(90分)
第2回	レクリエーションの歴史と人間社会	【遊びとは】 【社会福祉におけるレクリエーション】	予習：日常生活におけるレクリエーションについて調べる(90分)

		ンの歴史】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第3回	レクリエーションの活動領域	【行政下のレクリエーション】	予習：社会生活におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第4回	日常生活とレクリエーション	【レクリエーションの社会化・日常化】 【グループワーク】 【運動の実際】	予習：現代社会におけるレクリエーションとは何か調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第5回	レクリエーションの参加者と支援者の役割	【指導と支援】 【共生】 【指導案とは】	予習：社会福祉におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第6回	個人・集団のレクリエーション	【個人と集団】 【家族】 【嗜好と現実性】 【指導案の作成】	予習：レクリエーション財について調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第7回	社会福祉におけるレクリエーション活動	【自立と自律】 【自己実現】 【子どもとレクリエーション】	予習：これまでの授業を復習する(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第8回	授業内試験(レポート)	【レポート】	予習：前授業の復習をする(90分) 復習：課題を整理し、調べ、まとめる(90分)
第9回	レクリエーションの企画と実際	【指導案の作成】 【グループディスカッション】	予習：これまでの学修の整理・まとめ・振り返り(90分) 復習：課題のまとめ・振り返り(90分)
第10回	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①	【レクリエーション活動の展開・企画】 【グループワーク】	予習：対象者に応じたレク財を調べ、まとめる(90分) 復習：授業内容の整理・まとめ(90分)
第11回	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②	【レクリエーション活動の展開・企画】 【グループワーク】	予習：対象者に応じたレク財を調べ、まとめる(90分) 復習：授業内容の整理・まとめ(90分)
第12回	レクリエーション活動の実際①	【レクリエーション活動の展開】 【計画または実践・振り返り】 【プレゼンテーション】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第13回	レクリエーション活動の実際②	【レクリエーション活動の展開】 【計画または実践・振り返り】 【プレゼンテーション】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第14回	レクリエーション活動の実際③	【レクリエーション活動の展開】 【計画または実践・振り返り】 【プレゼンテーション】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第15回	授業内試験(計画書の作成)	【振り返りとまとめ】	予習：全授業の復習(90分) 復習：レクリエーション活動における課題の整理(90分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介し、配布します。

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	40%
授業への意欲・姿勢	-
その他	30%

教材費用・実習費用等の負担費用

レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある

その他特記事項

ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、ミニッツペーパー

シラバス参照

講義名	ライフデザイン基礎
代表ナンバリングコード	0000221205
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	1.2 Semester (1年次春～秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221205

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭・職場・地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭・職場・地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標

- ① 対人援助や人材育成のあり方を理解することができる。
- ② 現代社会の基礎的問題を学び、考える力を養うことができる。また介護実践に必要な社会保障の制

度、施策についての基礎的な知識を理解することができる。
③ 家族・福祉・衣食住・消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得できる。

授業概要

社会・福祉・衣食住に関する基本的知識を講義を通して理解する。
また演習を通して対人援助や衣食住に必要な基本的技術を習得する。
学習内容に応じて個人・グループで課題に取り組み、よりよい方法を考える。レポートの作成やグループ発表を行いアクティブラーニングの授業を行う。
この授業は3人の教員が受け持つ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【自己紹介・年間計画・個人面接】	
第2回	食を考える①	【献立・調理法・予算・買物】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてレポート作成(30分) 復習：メニュー表・調理表の作成 (30分)
第3回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買物・食材準備(120分)
第4回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート(60分)
第5回	社会と人間①	【人材育成 対人援助】	予習：話題を考えてくる(30分) 復習：振り返り(30分)
第6回	社会と人間②	【現代社会・社会構造・社会問題】	予習：新聞等から現代社会の問題を考える(30分) 復習：振り返り(30分)
第7回	大規模災害と社会保障	【東日本大震災・社会保障・災害弱者】	予習：東日本大震災について調べる(30分) 復習：振り返りまとめ(30分)
第8回	現代社会と法	【福祉・理想と現実・まとめ】	復習：これまでの授業内容の復習(60分)
第9回	中間まとめ		復習：課題レポート(60分)
第10回	生活とアロマ	【手浴・ハンドトリートメント】	予習：上肢の筋肉・皮膚の確認(30分) 復習：ハンドトリートメントを実施した考察レポート (30分)
第11回	暮らしとアロマ	【芳香】 【創香】	予習：アロマセラピーを応用した生活用品はどのような物があるか考えてくる(30分) 復習：作品の完成(30分)
第12回	食について考える②	【献立・買い物・予算】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてくる(30分) 復習：メニュー表・調理表の作成(30分)
第13回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買物・食材準備(120分)
第14回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート(60分)
第15回	まとめ		復習：まとめのレポート作成(60分)
第16回	オリエンテーション	【秋学期の予定・計画表の確認・個別面談】	
第17回	食について考える③	【献立・調理法・予算・買物】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてレポート作成(30分) 復習：メニュー表・調理表の作成 (30分)
第18回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買物・食材準備(120分)
第19回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート(60分)
第20回	衣について①手縫いの基本技術	【並縫い・返し縫い・玉止め】	予習：以前に家庭科で学んだ縫い方を復習してくる(30分) 復習：作りたい作品を調べ、考えてくる(30分)
第21回	衣について②小物の作製	【縫い方の応用】	復習：作品づくり(60分)
第22回	衣について③小物の作製	【縫い方の応用】	復習：作品づくり完成(60分)
第23回	中間まとめ		課題レポート(60分)
第24回	生活と家事① はき掃除	【はたき】 【ほうき】 【掃除機】	予習(30分) 自宅で行っている方法について調べる。 復習(60分) 授業後に自宅実践しレポート作成
第25回	生活と家事② 拭き掃除	【雑巾】 【畳】 【窓拭き】	予習(30分) 自宅で行っている方法について調べる。

			復習(60分)授業後に自宅実践しレポート作成
第26回	生活と家事③ 洗濯・アイロンがけ	【洗濯機】 【手洗い】 【たたみもの】 【収納】	予習(30分)自宅で行っている方法について調べる。 復習(60分)授業後に自宅実践しレポート作成
第27回	社会保障とライフステージ①	【ライフステージ・生きるとは・リーダーシップ】	復習：まとめのレポート作成(60分)
第28回	社会保障とライフステージ②	【社会保険・年金・医療】	復習：まとめのレポート作成(60分)
第29回	社会保障とライフステージ③	【児童福祉・労働法制・まとめ】	復習：まとめのレポート作成(60分)
第30回	施設見学	【特別養護老人ホーム】 【障害者施設】	予習：見学する施設について調べる(60分) 復習：見学した施設についてのレポートを作成する。(60分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験（筆記）	-
学期末試験（レポート）	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題（レポートなど）	50%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	50%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項 グループワークによる発表があります。

シラバス参照

講義名	ライフデザイン研究
代表ナンバリングコード	0000222202
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	3.4セメスター(2年次春～秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222202

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	○
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	—
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	○

本科目の到達目標

- ① 対人援助や人材育成のあり方を理解することができる。
- ② 現代社会の基礎的問題を学び、考える力を養うことができる。また介護実践に必要な社会保障の制

度、施策についての基礎的な知識を理解することができる。
③ 家族・福祉・衣食住・消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得できる。

授業概要

ライフデザイン基礎で学んだことを基に、興味のあるテーマ(対人援助、社会保障制度、社会・福祉、衣・食・住等)を1つ選び、先行研究を調べ、課題に取りくむ。論文を作成し、プレゼンテーションを行う。この授業はアクティブラーニングを用いた授業を行い、3人の教員が受け持つ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【年間計画・個人面接】	
第2回	研究の意義・目的・方法	【アイデア・問題意識】	予習・復習90分 配布した資料を読む。アイデアの抽出・検討
第3回	研究の意義・計画書の作成	【先行研究・文献・資料収集】	予習・復習90分 配布した資料を読む。アイデアの抽出・検討
第4回	研究の意義・計画書の作成	【倫理・プライバシーの保護】	予習・復習90分 配布した資料を読む。アイデアの抽出・検討
第5回	先行研究を調べる	【先行研究・文献】	予習・復習90分 先行研究を調べ・資料を作成する
第6回	先行研究を調べる	【先行研究・文献】	予習・復習90分 先行研究を調べ・資料を作成する
第7回	先行研究を調べる	【先行研究・文献】	予習・復習90分 先行研究を調べ・資料を作成する
第8回	中間報告：計画書の提出・発表	【発表・個別指導】	予習・復習90分 研究活動計画書の立案
第9回	中間報告：計画書の提出・発表	【発表・個別指導】	予習・復習90分 研究活動計画書の立案
第10回	フィールドワーク準備	【研究方法・質問】	予習90分 フィールドワーク準備
第11回	フィールドワーク	【データ収集】	予習・復習90分 研究活動の整理・まとめ
第12回	フィールドワーク	【データ収集】	予習・復習90分 研究活動の整理・まとめ
第13回	フィールドワーク	【データ収集】	予習・復習90分 研究活動の整理・まとめ
第14回	フィールドワークの資料作成	【分析・個別指導】	予習・復習90分 研究資料をまとめる
第15回	フィールドワークの資料作成	【分析・個別指導】	予習・復習90分 研究資料をまとめる
第16回	ガイダンス フィールドワークの成果の発表	【発表・質疑応答】	予習・45分 発表準備
第17回	フィールドワークの成果の発表	【発表・質疑応答】	予習・45分 発表準備・
第18回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第19回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第20回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第21回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第22回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第23回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第24回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆・完成

第25回	研究発表・準備	【プレゼンテーション】	予習90分 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第26回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習(60分) 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第27回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習(60分) 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第28回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習(60分) 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第29回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習(60分) 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第30回	研究発表 まとめ	【プレゼンテーション】	

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験（筆記）	-
学期末試験（レポート）	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題（レポートなど）	60%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	40%
その他	-

評価の方法（詳細）	興味のあるテーマ(対人援助、社会保障制度、社会・福祉、衣・食・住等)に対する論文の作成し、ゼミ毎でプレゼンテーションや発表を行う。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	学生の希望に応じて、資格取得の学習を行う場合もあります。また福祉関連などのボランティアに個人的に参加してレポートを作成する場合もあります。

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	介護の基本 I
代表ナンバリングコード	0000221301
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科児童学コース	0000221301

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	○
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標

- ① 介護福祉士として介護とは何か考え、生活支援の意味や介護を取り巻く状況について理解できる。
- ② 幸福に生きるために、その人らしい生活とはどのようなものか考察し理解できる。
- ③ 介護福祉士として基礎的な専門知識を修得し、自分の考えを伝えることができる。

授業概要

テキストに準拠しつつも、常に社会の動きを視野にいれ、その求めに応じるべき使命を自覚しつつ学ぶ。積極的に社会生活・日常生活上の課題について情報を収集し、発信できる積極性が授業には求められる。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	何を学ぶか、なぜ学ぶか、どのように学ぶか、学びの結果	【オリエンテーション】	予習：シラバスの確認(90分) 復習：学習課題の整理(90分)
第2回	介護福祉の歴史と介護福祉サービスの社会化	【介護の歴史】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第3回	高齢社会と介護サービスの社会化	【介護保険制度】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第4回	介護福祉士の役割と機能	【社会福祉士及び介護福祉士法・専門職倫理】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)

第5回	介護における自立支援とは (様々な自立の概念)	【自立とは？】 【生活とは・社会とは】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第6回	介護における自立支援とは (障害のある人の自立)	【障害の理解】 【ノーマライゼーション】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第7回	介護におけるノーマライゼーションの理念	【その人らしさを考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第8回	介護におけるリハビリテーションの概念 (介護予防・潜在能力の活用他)	【介護予防・リハビリテーション】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第9回	生活を支える介護 ① 生活の捉え方	【暮らしの継続性】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第10回	生活を支える介護 ② 高齢者の特徴と生活	【生活環境の捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第11回	生活を支える介護 ③ 障害のある人々の生活	【障害をもつということ】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第12回	生活を支える介護 ④ 介護福祉士と生活支援	【「くつろぎの場」「安心できる生活の場」について考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第13回	生活を支える介護 ⑤ 日常生活支援の原則	【生活習慣と生活障害について】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第14回	生活を支える介護 ⑥ 日常生活支援の方法	【認知症の人・障害を持つ人の生活を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第15回	尊厳を支える介護 ① 自立を支える介護	【自立支援とは】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第16回	尊厳を支える介護 ② 個を支える介護	【利用契約制度】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第17回	授業内試験(レポート)	【レポート】	予習：講義の復習(90分) 復習：テーマに対する振り返りとまとめ(90分)
第18回	介護を支える環境 ① 環境と人間	【生活環境の捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第19回	介護を支える環境 ② プライバシーとコミュニティ	【プライバシー・人権を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第20回	介護を支える環境 ③ 住環境整備の在り方	【食寝分離】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第21回	介護を支える環境 ④ 地域包括ケアシステム	【地域包括ケアの視点】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第22回	高齢者虐待の防止	【グループワーク】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)

第23回	プライバシーの保護	【プライバシーを守ること】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第24回	措置制度から契約へ	【社会全体で介護を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第25回	介護従事者の倫理	【事例検討】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第26回	尊厳を支える支援とは①(人権尊重とノーマライゼーション)	【尊厳とは何かを考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第27回	尊厳を支える支援とは②(QOL)演習	【事例検討】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第28回	自立に向けた介護①(ICFの考え方とリハビリテーション)	【介護におけるICFの捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第29回	自立に向けた介護②(ICFの考え方とリハビリテーション)	【介護におけるICFの捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第30回	授業内試験(筆記)	【まとめ】	予習：これまでの復習(90分) 復習：回答の確認・復習(90分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN(ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座3 「介護の基本Ⅰ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883921	2,420円

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介し、配布します。

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	70%
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	15%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

評価の方法(詳細)	まとめ…40% 中間まとめ…30%
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了時にミニツツペーパーを実施します。事例検討など適宜実施します。 レポート課題等は適宜連絡します。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することがあります。(講義内にて連絡します)。内容に応じて外部講師等が担当することもあります。

シラバス参照

講義名	介護の基本Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000221308
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2 Semester (1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221308

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標	① 介護福祉士として、基本的な介護サービスの内容や特徴を学び、また介護福祉士の役割を理解できる。 ② 介護の質の向上を図るために、多職種連携の意義と目的について理解できる。 ③ 介護に携わる人として、人権の意味や職業倫理が理解できる。
授業概要	介護福祉士として、主体的な学修を行うために、振り返りシートへの記入を実施する。また、レポートなど論理的思考を学ぶための学修も行う。そのため、授業内容は、教科書に準拠しつつも、社会の動静を視野に入れ、そこから発生した要請に応えるべき介護福祉士としての使命の自覚を促すものとなる。また、介護福祉士国家試験の対策も実施する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	自らの使命を自覚し、学ぶ意欲を新たなものとする	【オリエンテーション】 【振り返り】	予習：シラバス・教科書を読み、授業の展開を理解する(90分) 復習：前期の復習をし、課題を明確にする(90分)
第2回	介護福祉士をとりまく状況(介護問題の背景と介護福祉士制度)	【生活の理解】 【生活者の理解】	予習：生活や生活習慣について調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第3回	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	【介護福祉士の専門性】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)

第4回	社会福祉士および介護福祉士法について	【資格の法的根拠】	予習：社会福祉士及び介護福祉士法について調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第5回	介護関連法規	【関連制度】	予習：老人福祉法、高齢者虐待防止法について調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第6回	高齢者の生活①	【生活習慣】 【生活歴】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第7回	高齢者の生活②	【家族介護】 【社会参加】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第8回	高齢者の生活③	【事例検討】 【グループワーク】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第9回	障害のある人の生活①	【障害のある人の理解】 【障害関連の法律・制度】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第10回	障害のある人の生活②	【障害のある人の生活】 【障害のある人とのかかわり】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第11回	介護保険制度における介護サービスの概要①	【訪問系介護サービス】 【通所系サービス】	予習：介護保険制度のサービスを教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第12回	介護保険制度における介護サービスの概要②	【入所系サービス】	予習：介護保険制度のサービスを教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第13回	介護保険制度における介護サービスの概要③	【チームアプローチ】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第14回	障害者総合支援法①	【サービスの利用と概要】	予習：障害者総合支援法を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第15回	障害者総合支援法②	【地域社会と障害】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第16回	授業内試験(レポートまたは筆記)	【振り返りと中間まとめ】	予習：これまでの学習を振り返り、まとめる(90分) 復習：授業内容の振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第17回	介護実践における連携 多職種との連携①	【チームアプローチ】 【カンファレンス】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第18回	介護実践における連携 多職種との連携②	【協働・連携】 【介護と医療職】	予習：医療の専門職について教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第19回	介護実践における連携 地域との連携①	【地域包括支援センター】	予習：地域包括支援センターについて教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第20回	介護実践における連携 地域との連携②	【インフォーマルサービスとの連携】 【市町村・都道府県との連携】	予習：フォーマルサービス、インフォーマルサービスについて、教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第21回	介護における安全の確保①	【尊厳の確保】 【安全の考え方】 【ヒヤリハット】 【ハインリッヒの法則】	予習：ヒヤリハットについて調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第22回	介護における安全の確保②	【介護ストレス】 【心の健康管理】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第23回	介護における安全の確保③(連携)	【信頼関係】 【記録】 【プロセスレコード】	予習：プロセスレコードについて調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第24回	リスクマネジメント①	【リスクマネジメントの視点】 【リスク回避と尊厳の保持】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第25回	リスクマネジメント②	【事故防止】 【安全生活を守る仕組み】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)

第26回	介護者の健康管理(感染症対策)	【心身の健康管理の意義と目的】 【感染症対策】	予習：感染症について教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第27回	介護労働に関する法律	【安心して働ける環境】	予習：労働基準法について教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第28回	介護福祉士を目指すということ ①(外部講師予定：卒業生)	【専門職倫理・職業倫理】 【介護を取り巻く状況の変化】 【専門職業人としての自覚】 【グループワーク】	予習：実習に臨む心構えについて、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第29回	介護福祉士を目指すということ ②(外部講師予定：卒業生)	【生活】【人生】【過去・現在・未来】 【ディベート】	予習：実習に臨む心構えについて、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第30回	これまでのまとめと振り返り	【振り返りとまとめ】	予習：これまでの講義を振り返り、課題をまとめ(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第31回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座4 「介護の基本Ⅱ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883921	2,420円

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介し、配布します。

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	40%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	30%
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	15%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

評価の方法(詳細)	定期試験(筆記)…40% 中間まとめ…30%
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了前にミニッツペーパーを実施します グループワーク、ディベート、外部講師 レポート課題等は適宜連絡する。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある(講義内にて連絡する)。

シラバス参照

講義名	介護の基本Ⅲ
代表ナンバリングコード	0000222305
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	4セメスター(2年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222305

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護福祉士として、介護の考え方を理解し、「介護を必要とする人」を生活の観点からとらえることができる。 ② 介護の専門性を理解し、介護実践の基本となる知識を修得することができる。
----------	---

授業概要	信頼できる介護の実現のためには、国家資格の取得が必要となる。そのため、12月の学力評価試験において70%の取得率を目指す。国家試験出題範囲に関する問題を(ワークブック、模擬問題など)を解き、解説を行う。 学生が各問題に取り組み、テキスト等で調べ、グループワークまたは個人で解説を発表する形式をとる。学習内容によって方法は異なるが、到達目標達成のために、アクティブラーニングを用いた授業を行う。
------	---

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【講義の概要説明】【自己紹介など】	予習：シラバスの理解および課題の整理(90分)
第2回	障害の理解	【身体障害】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)

第3回	障害の理解	【精神障害】 【知的障害】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第4回	障害の理解	【知的障害】 【発達障害】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第5回	障害の理解	【内部障害】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第6回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第7回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第8回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第9回	こころとからだのしくみ	【こころのしくみのまとめ】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第10回	医療的ケア	【経管栄養】 【吸引】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第11回	発達と老化の理解	【人間の成長と発達】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第12回	発達と老化の理解	【老年期の発達と成熟】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第13回	発達と老化の理解	【老化にともなうこころとからだの変化】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第14回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題 1回目】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)
第15回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題 1回目】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)
第16回	認知症の理解	【認知症の基礎】 【認知症を取り巻く状況】 【認知症の症状】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第17回	認知症の理解	【認知症にともなうこころとからだの変化】 【連携と協働】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第18回	介護の基本	【介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ】 【介護従事者の倫理】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第19回	介護の基本	【尊厳を支える介護】 【自立に向けた介護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第20回	生活支援技術	【移動・食事・排泄・入浴・居住環境】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第21回	生活支援技術	【移動・食事・排泄・入浴・居住環境】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第22回	介護保険法	【介護保険制度の基礎的理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第23回	介護保険法	【介護サービス】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第24回	障害者総合支援法	【障害者支援の仕組みの基礎的理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第25回	障害者総合支援法	【障害福祉サービス】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第26回	社会保障の仕組み	【社会保障制度の基礎的理解】 【保険・年金】 【生活保護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第27回	社会保障の仕組み	【社会保障制度の基礎的理解】 【保険・年金】 【生活保護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第28回	総合問題対策	【事例問題】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)

第29回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題 2回目】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)復習：振り返りシート作成(90分)
第30回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題 2回目】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)復習：振り返りシート作成(90分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	見て覚える！介護福祉士国試ナビ	いとう総研資格取得支援センター【編】	中央法規出版	9784805883167	2,640円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	100%
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用	介護福祉士全国統一模擬試験 2回 中央法規 8,000円+税 学力評価試験 日本介護福祉士養成協会 2,000円+税
その他特記事項	授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある。 個人・グループで問題を解き、根拠を探し発表する。(理解促進テスト法)
備考	実務家教員(看護師) 実務家教員(介護福祉士)

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	コミュニケーション技術
代表ナンバリングコード	0000221302
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1 semester (1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221302

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護を必要とする者の理解や援助的關係、援助的コミュニケーションについて理解できる。 ② 利用者や利用者家族、あるいは多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につけることができる。
----------	--

授業概要	介護における基本的なコミュニケーション技術を学ぶとともに、必要な自己理解、他者理解についての学習を中心に行う。また、ペアワークや振り返りのテストなどを通じて定着をはかる。
------	---

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【講義の進め方】	予習：シラバスを熟読(90分) 復習：オリエンテーション内容を覚える(90分)
第2回	介護におけるコミュニケーションの基本	【コミュニケーションとは】	予習：介護におけるコミュニケーションの基本について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護におけるコミュニケーションの基本についての語句を覚える(90分)
第3回	介護におけるコミュニケーションの意義、役割	【自己理解】 【他者理解】	予習：介護におけるコミュニケーションの意義、役割について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護におけるコミュニケーションの意義、役割についての語句を覚える(90分)
第4回	介護を必要とする利用者の理解	【利用者理解】	予習：介護を必要とする利用者について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護を必要とする利用者についての語句を覚える(90分)
第5回	介護を利用する利用者の家族の理解	【家族理解】	予習：介護を必要とする利用者の家族について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：介護を必要とする利用者の家族についての語句を覚える(90分)

第6回	認知症の利用者とのコミュニケーション	【認知症の利用者との関わりの基本】	予習：認知症の利用者とのコミュニケーションについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：認知症の利用者とのコミュニケーションについての語句を覚える(90分)
第7回	失語症の利用者とのコミュニケーション	【失語症の利用者との関わりの基本】	予習：失語症の利用者について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：失語症の利用者についての語句を覚える(90分)
第8回	家族とのコミュニケーション	【家族との関わりの基本】	予習：家族とのコミュニケーションの方法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：家族とのコミュニケーション方法についての語句を覚える(90分)
第9回	利用者、家族に対する傾聴の基本	【聴き方】	予習：利用者、家族に対する傾聴の基本について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：利用者、家族に対する傾聴の基本についての語句を覚える(90分)
第10回	利用者、家族に対する伝え方の基本	【伝え方】	予習：利用者、家族に対する伝え方について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：利用者、家族に対する伝え方についての語句を覚える(90分)
第11回	チームのコミュニケーション ①(目的、方法)	【目的】 【方法】	予習：チームのコミュニケーション(目的、方法)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：チームのコミュニケーション(目的、方法)についての語句を覚える(90分)
第12回	チームのコミュニケーション ②(報告、連絡、相談)	【連絡】 【報告】 【相談】	予習：チームのコミュニケーション(連絡、報告、相談)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：チームのコミュニケーション(連絡、報告、相談)についての語句を覚える(90分)
第13回	チームのコミュニケーション ③(会議、記録)	【ケアカンファレンス】 【記録の意義】	予習：チームのコミュニケーション(会議、記録)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：チームのコミュニケーション(会議、記録)についての語句を覚える(90分)
第14回	相談援助職のあり方	【相談援助職】	予習：相談援助職のあり方について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助職のあり方についての語句を覚える(90分)
第15回	まとめ	【振り返り】	予習：半年間のノートの熟読(100分) 復習：半年間のノートで覚えていないところを覚える。(90分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介し、配布します。

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	60%
課題(レポートなど)	20%
各回のコメントシート	10%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	10%
その他	-

評価の方法(詳細)	授業中の小テストを60%とする。 課題レポートは20%とする。 コメントシートは10%とする。 授業活動の取り組みは10%とする。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	A L(ロールプレイ、ブレインストーミングなど)を実施する。
備考	実務家教員(社会福祉士、介護福祉士)

シラバス参照

講義名	コミュニケーション技術演習
代表ナンバリングコード	0000221309
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221309

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標

- ① 介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報伝達に必要な基礎的なコミュニケーション技術を活用し実践できる。
- ② 多職種協働におけるコミュニケーション技術について理解できる。

授業概要

介護現場で必要となるコミュニケーション技術の基礎について体験的に学習を行います。そのため、授業終了時に振り返りシートの記入や演習用プリントなどを実施します。積極的な姿勢や主体的な学習態度が必要になります。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【本授業の説明】	予習：人間関係とコミュニケーションbについて復習する。(45分) 復習：コミュニケーション技術の基本について、概要を理解し、まとめる(45分)
第2回	介護福祉士のコミュニケーション技術 ①コミュニケーションの基本	【コミュニケーションの意義・目的】 【ラポール】 【人間関係の形成】	予習：信頼関係とは何か考察し、まとめる(45分) 復習：感情表現や態度など学習したことを実践する(45分)
第3回	介護福祉士のコミュニケーション技術 ②利用者家族との関係	【利用者・家族との関係づくり】 【転移・逆転移】 【専門的介護関係の形成】	予習：転移・逆転移について調べ、まとめる(45分) 復習：感情のコントロールについて、考察し実践する(45分)
第4回	対人支援の実際①	【バisstek】 【グループワーク】	予習：バisstekについて調べ、まとめる(45分) 復習：学びの実践、受容・自己決定の実践(45分)
第5回	対人支援の実際②	【エコマップ】 【ジェノグラム】 【情報の共有化】	予習：エコマップ、ジェノグラムについて調べ、まとめる(45分) 復習：家族との対話を通し、感想をまとめる(45分)

第6回	対人支援の実際③	【プロセスレコード】 【支援関係の構築】	予習：ボランティア・実習場面などを記録する(45分) 復習：コミュニケーション場面を言葉や文章で説明する(45分)
第7回	授業内試験(筆記またはレポート)	【中間まとめ】	予習：ノートの再読(45分) 復習：まとめについて復習し、課題を整理する(45分)
第8回	個別に対するコミュニケーション①	【コミュニケーション障害】 【コミュニケーションを阻害する要因】	予習：コミュニケーション障害について調べ、まとめる(45分) 復習：ノートを整理し、課題を調べまとめる(45分)
第9回	個別に対するコミュニケーション②	【意欲】 【受容・共感・傾聴】	予習：意欲低下の場面を振り返り、どのようにして立ち直ったかまとめる(45分) 復習：学びの実践、意識的に態度を変える(45分)
第10回	集団に対するコミュニケーション①	【グループワークとは】 【集団の特徴】	予習：グループワークについて調べ、まとめる(45分) 復習：主体性・協調性について意識し、実践する(45分)
第11回	集団に対するコミュニケーション②チームアプローチ	【傾聴】 【主体性】 【連携】 【グループワーク】	予習：リーダーシップについて調べ、まとめる(45分) 復習：積極的に行動する(45分)
第12回	地域に対するコミュニケーション①チームアプローチ	【地域福祉】 【報告・連絡・相談】 【情報の共有化】 【事例検討】	予習：地域の福祉施設について調べる(45分) 復習：報告・連絡・相談の実践(45分)
第13回	地域に対するコミュニケーション②情報の共有化	【カンファレンス】 【記録・司会】 【グループワーク】 【事例検討】	予習：カンファレンス・会議について調べ、まとめる(45分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(45分)
第14回	介護福祉士のコミュニケーション技術	【専門性】 【実践家の熟成過程】 【事例検討】	予習：プロとアマチュアの違いについて、まとめる(45分) 復習：容量について意識する、受容の実践(45分)
第15回	授業内試験(レポート)	【全体の振り返り】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(90分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	対人援助とコミュニケーション(第2版)	諏訪茂樹	中央法規	978480583249	2,090円

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	70%
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	15%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

評価の方法(詳細)	まとめ(40%) 中間まとめ(30%)
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	ミニツペーパー、グループワーク、事例検討 レポート課題等は適宜連絡します。 授業は、知識及び技術の定着と理解に深まりを期待することから、進度や内容を変更することがあります。(講義内で連絡します)
備考	授業内容等に応じて外部講師が担当することもあります。

シラバス参照

講義名	生活支援技術概論 A
代表ナンバリングコード	0000221303
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221302

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 丸山 俊明	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標	【住分野】 ① 福祉住環境について概要と基本的用語を把握できる。 ② 簡単な住宅調査ができる。 【家庭・衣分野】 ① 日常生活を構成する上で基本となる家庭生活の基礎的な事柄について説明できる。 ② 衣生活について基礎的な知識を習得し、介護の現場で問題点を見つけ改善策を提案できる。
----------	---

授業概要	【住分野】 ・テキストを中心に福祉住環境の基礎と基本的用語を学ぶ ・住宅調査の基礎的方法を学ぶ 【家庭・衣分野】 ・家庭生活の特質や、変動する社会における家族機能や家庭管理のあり方について学習する。 ・被服の役割、素材、管理方法を理解し、より快適な衣生活が送れる方法を考察する。
------	--

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	【住①】 バリアフリーとユニバーサルデザインの概要と基本的用語を学ぶ	【バリアフリー】 【ユニバーサルデザイン】	予習：テキスト第3章(90分) 復習：テキスト第3章(90分)
第2回	【住②】 安全・安心・快適な住まいの整備の概要と基本技術を学ぶ①	【段差解消】 【手すり】	予習：テキスト第4章1節前半(90分) 復習：テキスト第4章1節前半(90分)
第3回	【住③】 安全・安心・快適な住まいの整備の概要と基本技術を学ぶ②	【家具】 【収納】 【冷暖房】	予習：テキスト第4章2節前半(90分) 復習：テキスト第4章2節前半(90分)
第4回	【住④】 生活行為にそった安全な住まいの概要と基本技術を学ぶ	【屋外移動】 【屋内移動】 【入浴】 【排泄】	予習：テキスト第4章2節後半(90分) 復習：テキスト第4章2節後半(90分)
第5回	【住⑤】 ライフスタイルの多様化と住まいの概要と基本技術を学ぶ	【高齢化】 【少子化】	予習：テキスト第5章1節(90分) 復習：テキスト第5章1節(90分)

第6回	【住⑥】 まちづくりと住まいの概要と基本技術を学ぶ①	【まちづくり】 【関係法令】	予習：テキスト第5章2節(90分) 復習：テキスト第5章2節(90分)
第7回	【住⑦】 まちづくりと住まいの概要と基本技術を学ぶ②	【まちづくり】 【関係法令】	予習：テキスト第5章3節(90分) 復習：テキスト第5章3節(90分)
第8回	【家①】家庭生活の特性や、変動する社会・家庭生活における家族機能としての高齢者への対応などの現状や問題について考える。	【家庭】 【家族】 【高齢者】	予習：テキストp194～197を読み要点をまとめる。まとめた要点は提出する(9～15回とも同様)(90分) 資料も調べること 復習：ワークシート作成(90分)
第9回	【家②】高齢社会の現状と課題 家族・健康、経済生活、生きがいなどを考える。	【少子化】 【高齢化】 【超高齢社会】	予習：テキストp198～201を読み要点まとめ(90分) 資料も調べること 復習：ワークシート作成(90分)
第10回	【家③】家庭経済 高齢者・障害者の経済生活について知る。 現代社会における消費者と消費者問題について考える。	【家計】 【消費生活】 【消費者問題】	予習：テキストp201～204を読み要点まとめ(90分) 新聞などから関連する記事を読み貼付(60分) 復習：ワークシート作成(90分)
第11回	【衣①】被服の役割と機能 多様な被服の役割を考える。	【保健衛生的機能】 【社会的機能】 【自己表現】 【皮膚障害】	予習：テキストp246～248、269～271を読み要点まとめ(90分) 復習：ワークシート作成(90分)
第12回	【衣②】被服の素材 衣服材料の種類や特徴を知る。	【繊維】 【糸】 【織物】 【編物】 【性能改善】 【加工法】 【繊維リサイクル】 【サステナビリティ】	予習：テキストp251、253～256、249を読み要点まとめ(90分) 復習：ワークシート作成(90分)
第13回	【衣③】被服計画 被服選択・購入時において種々の表示を活用する。 被服の管理 洗濯、洗剤の種類と正しい使い方について理解する。	【サイズ表示】 【素材表示】 【取扱 い絵表示】 【洗剤】 【洗濯】	予習：テキストp250～252、256～263を読み要点まとめ(90分) 市場調査(60分) 復習：ワークシート作成(90分)
第14回	【衣④】高齢者・障害者の被服 高齢者・障害者の身体的・心理的な特徴をふまえて、着心地の良い被服を考察する。	【ユニバーサルファッション】 【健康】 【安全】 【快適】	予習：テキストp271～276を読み要点まとめ(90分) 復習：ワークシート作成(90分)
第15回	【衣⑤】プレゼンテーション 高齢者・障害者のための衣服	【高齢者・障害者のための衣服】	予習：プレゼンテーションの準備(120分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	福祉住環境コーディネータ-3級公式テキスト (改訂6版)	東京商工会議所 (編)	東京商工会議所	9784924547650	2,750円
2	最新 介護福祉士養成講座6 「生活支援技術Ⅰ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験 (筆記)	-
学期末試験 (レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題 (レポートなど)	70%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	30%
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

評価の方法 (詳細)	【住】 毎回講義の開始時と終了時に行うミニツペーパー (コメントシート60%) と最終講義で行う試験 (30%) の結果で評価する。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	各分野ごとの成績が100点中60点以上を合格とする。 【住】 … 丸山 俊明 (全7回) 席指指定、受講条件のある学生は申し出ること、質問先は丸山研究室 【家庭・衣分野】 … 内丸 もと子 (全8回) ※分野により、授業日程が異なる (授業日程は別途案内する)。
備考	実務家教員 (一級建築士)

シラバス参照

講義名	生活支援技術概論B
代表ナンバリングコード	0000221310
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221310

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 赤田 みゆき	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標

- ① 食物を栄養素の視点で理解することができる。
- ② 病気予防につながる生活上の注意を理解することができる。
- ③ 「生活支援」に関わる情報を自発的に探索・説明することができる。

授業概要

食生活を支援するために必要な栄養学の基礎的知識や、食物摂取と関わる病気の予防について解説する。その結果の1つとして、食生活支援に関わる情報に興味・関心を持つ態度を育てる。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	生活における食事の役割	【栄養, 消化, 吸収】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第2回	食事と栄養(1): 糖質	【代謝, 糖質】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第3回	食事と栄養(2): 蛋白質	【代謝, 蛋白質】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第4回	食事と栄養(3): 脂質	【代謝, 脂質】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第5回	食事と栄養(4): ビタミン, ミネラル	【酵素, ビタミン, ミネラル】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第6回	調理の科学(1): 「切る」, 「刻む」, 「つぶす」, 「すりおろす」, 「和える」, …	【消化, 酸化】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第7回	調理の科学(2): 「煮る」, 「蒸す」, 「揚げる」, 「炒める」, 「焼く」, …	【熱変性, 熱分解, 抽出】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)

第8回	病気と予防(1)：感染症	【細菌, ウイルス】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第9回	病気と予防(2)：食中毒	【腐敗, 発酵】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第10回	病気と予防(3)：循環器疾患	【動脈硬化, 梗塞】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第11回	病気と予防(4)：生活習慣病	【加齢, アルコール】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第12回	病気と予防(5)：アレルギー疾患	【抗原, 免疫】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第13回	食品と安全	【安全, 基準】	予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第14回	事例調査(1)		復習：レポート作成(90分)
第15回	事例調査(2)		復習：レポート作成(90分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I (第3版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805839409	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	30%
課題(レポートなど)	40%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	30%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし
備考	実務家教員(管理栄養士、スポーツ栄養士)

[ウィンドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	生活支援技術演習 A
代表ナンバリングコード	0000221304
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1年次(1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221304

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	北川 享子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 生活支援に資する介護を、他の職種と連携し適切に実施できる。 ② 介護技術を用いて、安全に安楽に援助できる技術や知識を習得する。 ③ 利用者が主体的に生活できるような、個別ケアが理解できる。
授業概要	どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について学習する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション、生活理解	【生活支援とは】	予習：テキストP2～12を読み理解する(90分)
第2回	ICFの考え方とアセスメントの意味	【自立支援に立った身体介護】	予習：高齢者の身体的特徴を調べる(90分)
第3回	ICFの考え方とアセスメントの意味	【ICFの意味】	復習：テキストP14～42を読み理解する(90分)
第4回	ボディメカニクス・移動・移乗の意義と目的	【ボディメカニクスの理解】	4～7 予習：テキストP1～22まで(90分)
第5回	体位変換の方法 ① 起居動作	【ボディメカニクス】	演習課題1～4レポート提出(90分)
第6回	体位変換の方法 ② 起居動作	【ボディメカニクス】	復習：起居動作の練習(90分)
第7回	体位変換の方法 ③ 安楽な体位	【ボディメカニクス】	復習：安楽な体位の練習(90分)
第8回	身支度の支援 ① 生活環境とアセスメント	【生活環境とアセスメント】	復習：介護過程のアセスメントを理解する(90分)
第9回	身支度の支援 ② ベッドメイキングの方法 洗面・整容	【自立した身支度の方法】	予習：テキストP22～27読む(30分)
第10回	身支度の支援 ③ 衣服の着脱方法	【身支度の意義と目的】	予習：テキストP22～27読む(60分)

第11回	身支度の支援 ④ 衣服の着脱方法	【自立生活を支える】	復習：身支度における演習の振り返り(30分)
第12回	身支度の支援 ⑤ 衣服の着脱方法	【自立生活を支える身支度の介護】	復習：身支度における演習の振り返り(30分)
第13回	移動・移乗の介助 ①	【移動・移乗におけるアセスメント】	復習：移動・移乗の介助方法の練習(30分)
第14回	移動・移乗の介助 ②	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助方法の練習(30分)
第15回	移動・移乗の介助 ③	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助方法の練習(90分)
第16回	移動・移乗の介助 ④	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助 方法の練習(90分)
第17回	歩行介助の方法	【杖歩行・白杖】	予習：P159～164(90分)
第18回	ベッドメイキングの方法 ①	【ベッドメイキングの方法】	復習：ベッドメイキングの練習(30分)
第19回	ベッドメイキングの方法 ②	【ベッドメイキングの方法】	復習：ベッドメイキングの練習(30分)
第20回	ベッドメイキングの方法 ③	【ベッドメイキングの方法】	復習：生活環境における演習の振り返り(30分)
第21回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ①	【衣服の着脱とシーツ交換】	復習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(30分)
第22回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ②	【衣服の着脱とシーツ交換】	復習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(30分)
第23回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ③	【衣服の着脱とシーツ交換】	予習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(90分)
第24回	感染症の予防方法	【感染症】	予習：感染症についてのレポート作成(120分)
第25回	入浴介助の意義と目的	【入浴介助】	予習：テキストP222～247まで読む(30分)
第26回	入浴介助の方法 ①	【入浴介助】	予習：テキストP176～184まで読む(30分)
第27回	入浴介助の方法 ②	【入浴介助】	予習：テキストP222～255まで読む(90分)
第28回	入浴介助の方法 ③	【入浴介助】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第29回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助演習 男子	【部分浴の介助】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第30回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助演習 女子	【清潔保持の介助とまとめ】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第31回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座6 「生活支援技術Ⅰ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	2,420円
2	最新 介護福祉士養成講座7 「生活支援技術Ⅱ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883969	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項 授業の中で、アクティブラーニングを用いた授業の実施を計画し実施する

備考 実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	生活支援技術演習B
代表ナンバリングコード	0000221311
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2 Semester (1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221311

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	北川 享子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	渡邊 美菜子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 生活支援に資する介護を、他の職種と連携し適切に実施できる。 ② 介護技術を用いて、安全に安楽に援助できる技術や知識を習得する。 ③ 利用者が主体的に生活できるような、個別ケアが理解できる。
授業概要	どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	福祉用具の活用	【福祉用具】	予習：介護保険・福祉用具についてレポート(120分)
第2回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ①	【福祉用具】	復習：福祉用具の使用方法を学ぶ(90分)
第3回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ②	【自立した移動・移乗】	復習：移動・移乗の介助方法の練習(90分)
第4回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ③	【移動・移乗のまとめ】	復習：移動・移乗の介助の振り返り(90分)
第5回	自立に向けた排泄の介護① 講義	【排泄の意義と目的】	予習：テキストP270～326読む(90分)
第6回	自立に向けた排泄の介護② 演習	【自立を支える排泄介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第7回	自立に向けた排泄の介護③ 演習	【排泄におけるアセスメント】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第8回	自立に向けた排泄の介護④ 演習	【排泄介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第9回	自立に向けた排泄の介護⑤ 演習	【尿器・差し込み便器を使った介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)

第10回	自立に向けた排泄の介護⑥ 演習	演	【頻尿・尿失禁・便秘・下痢・便失禁への対応】復習：	排泄介助の振り返り(60分)
第11回	自立に向けた排泄の介護⑦ 演習	演	【その他の排泄に関する様々な介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第12回	自立に向けた排泄の介護⑧ 演習	演	【排泄介助のまとめ】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第13回	自立に向けた排泄の介護⑨ 演習	演	【排泄介助のまとめ】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第14回	家事介護の基本 ①		【家事介護の基本的視点】	予習：テキストP182～203を読む(90分)
第15回	家事介護の基本 ②		【家事介護の基本的視点】	予習：テキストP274～333を読む(90分)
第16回	調理実習 ①		【調理実習】	予習：献立を考える(120分)
第17回	調理実習 ②		【調理実習】	復習：調理実習のレポート作成(120分)
第18回	食事介助の方法 ①		【食事介助】	予習：テキストP188～213まで読む(120分)
第19回	食事介助の方法 ②		【食事介助】	予習：食事介助チェックリスト作成(60分)
第20回	食事介助の方法 ③		【復習とまとめ】	復習：食事介助のチェックリスト作成(120分)
第21回	医療との連携方法		【多職種連携】	予習：テキストP346～352を読む(60分)
第22回	終末期のケア		【ターミナルケア】	復習：テキスト366～399まで読む(60分)
第23回	バイタルチェックの方法 ①		【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(120分)
第24回	バイタルチェックの方法 ②		【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(90分)
第25回	バイタルチェックの方法 ③		【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(90分)
第26回	バイタルチェックの方法 ④		【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(120分)
第27回	睡眠の意義と目的		【睡眠の介護】	予習：テキストP334～359を読む(120分)
第28回	後期のまとめ		【まとめ】	復習：苦手な生活支援技術を練習(60分)
第29回	Ⅱ期実習にくけて生活支援技術の復習		【生活支援技術】【Ⅱ期実習】	復習：不得手な生活支援技術の復習(90分)
第30回	後期の振り返りとまとめ		【振り返り】	復習：生活支援技術の振り返りと練習
第31回	定期試験(筆記)			

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (EANなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座6 「生活支援技術Ⅰ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	2,420円
2	最新 介護福祉士養成講座7 「生活支援技術Ⅱ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883969	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	40%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	30%

履修しておくべきことが望まれる科目	生活支援技術演習A
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	テキストは、「生活支援技術演習A」で使用したテキストと同じものです 授業の中で、アクティブラーニングを用いた授業を計画し実施する。
備考	実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	生活支援技術演習 C
代表ナンバリングコード	0000222306
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	4 semester (2年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222306

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	介護を必要とする様々な利用者の特性を理解し、介護の視点や支援の在り方について具体的に理解できる。
授業概要	介護を必要とする利用者は、様々な状態・状況で圧という事を学ぶ また、介護の原則は個別ケアであり、生き方や価値観、生活の仕方もそれぞれに違う 利用者の疾病や障害によって起こる生活の不自由さをどのように支援することが出来るのかを学ぶ また、利用者の課題解決をするためにアクティブラーニングを取り入れた授業を行う

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 障害を持つ人への支援	【障害の種類】	予習：テキストを読む p2~6 (90分)
第2回	障害に応じた生活支援技術 ① 視覚障害 実際にアイマスクや白状を使って演習を行い、レポート課題に向け話し合いレポート作成する	【視覚障害】 【白杖】 【生活支援】	予習：演習事例 視覚障害に応じた生活支援の実際のレポート作成 (90分)
第3回	障害に応じた生活支援技術 ② 聴覚障害・言語障害	【聴覚障害】 【重複障害】 【言語障害】	復習：演習事例 聴覚障害に応じた生活支援の実際についてのレポート作成 (90分)

		【コミュニケーション】	
第4回	障害に応じた生活支援技術 ③ 重複障害 盲ろう	【盲ろう】 【重複障害】	予習：テキストp. 63～73を読み理解し、事例 重複障害に応じた生活支援の実際についてレポ ート作成 (90分)
第5回	障害に応じた生活支援技術 ④ 知的障害 知的障害者へのレクリエーション を考え実施し評価する	【知的障害】 【生活の理解】	予習：知的障害について調べる (90分)
第6回	障害に応じた生活支援技術 ⑤ 精神障害	【総合失調症】 【気分障害】	予習：演習事例 統合失調症に応じた生活支援 の実際についてのレポート作成 (90分)
第7回	障害に応じた生活支援技術 ⑥ 高次脳機能障害	【高次脳機能】 【失語症】	予習：高次機能障害について調べる (90分)
第8回	障害に応じた生活支援技術 ⑦ 発達障害各グループで、発達障害 者に合ったレクリエーションを考え 実施し評価する	【アスペルガー症候群】 【ADHD】 【LD】	予習：発達障害について調べる (90分)
第9回	障害に応じた生活支援技術 ⑧ 発達障害 発達障害各グループで、発達障 害者に合ったレクリエーションを 考え実施し評価する	【パニック症候群】 【発達障害】 【自 閉症スペクトラム障害】 【ADHD注 意欠陥多動性障害】 【こだわり行動】	復習：演習事例 発達障害に応じた生活支援に ついてのレポート作成 (90分)
第10回	障害に応じた生活支援技術 ⑨ 重症心身障害	【重症心身障害】 【医療的ケア】 【肢 体不自由】 【自律支援】	予習：テキストp 183～186演習2-1から10まで記 入する (90分)
第11回	障害に応じた生活支援技術 ⑩ 認知症 認知症の高齢者に合ったレクリエ ーションを考え、実施し評価する	【特別養護老人ホーム】 【小規模多機能施設】 【グループホーム】	復習：認知症について調べレポート作成 (90分)
第12回	障害別レクリエーション ① 知的障害を持つ人へのレクリ エーションの企画	【知的障害】 【レクリエーション】	復習：レクリエーションの企画を立てる (90分)
第13回	4. 障害に応じた生活支援技術 ① 知的障害に応じたレクリエーション	【知的障害】	予習：レクリエーションの企画を立てる (90分)
第14回	障害に応じた生活支援技術 ② レクリエーションの企画	【コミュニケーション】	予習：レクリエーションの企画を立て、練習 (90分)
第15回	障害に応じた生活支援技術 ③ レクリエーションの発表	【知的障害】 【レクリエーション】	予習：レクリエーションの発表90分)
第16回	5. 障害に応じた生活支援技術 ① 精神障害	【精神障害】	予習：テキストp 161～172を読み理解する (90分)
第17回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【統合失調症】	予習：疾患の内容を調べる (90分)
第18回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【特性】 【社会参加】	予習：多職種協同について、どのような職種と 連携しているのか調べ、レポート作成 (90分) 復習： (90分)
第19回	6. 障害に応じた生活支援技術 ① 高次脳機能障害	【高次脳機能障害】 【失語】 【失認】 【失行】 【記憶障害】	予習：テキストp 217～228読み理解し、高次脳 機能障害に応じた生活支援の実際についてレポ ート作成 (90分)
第20回	障害に応じた生活支援技術 ② 高次脳機能障害の人の生活の理解	【失語】 【失認】 【失行】	予習：高次脳機能障害の人を支援するにあたっ ての、支援の工夫やポイントについてレポート 作成 (90分)
第21回	障害に応じた生活支援技術 ③ 高次脳機能障害の人の生活支援と 環境整備	【生活環境】 【生活リズム】	予習：p 216の事例を読んで、介護福祉士とし ての対応についてレポート作成 (90分)
第22回	7. 障害に応じた生活支援技術 ① 発達障害	【アスペルガー症候群】 【ADHD】 【LD】	予習：テキストp 229～245読み理解する (90分)
第23回	障害に応じた生活支援技術 ② 発達障害の人の生活の理解	【発達障害の特性】	予習：広汎性発達障害について調べる (90 分)
第24回	障害に応じた生活支援技術 ③ 発達障害の人の生活支援と環境整 備	【生活支援】 【自閉症スペクトラム】	予習：事例を読んで、介護福祉士としての対応 についてレポート作成 (90分)

第25回	8. 障害に応じた生活支援技術 ① 重症心身障害	【重症心身障害】	予習：重症心身障害について調べる (90分)
第26回	障害に応じた生活支援技術 ② 重症心身障害者の生活の理解	【強度行動障害】【自閉症】【重複障害】	予習：重症心身障害について調べる (90分)
第27回	障害に応じた生活支援技術 ③ 重症心身障害者の生活支援技術と環境整備	【生活環境】【生活支援技術】【安全安楽】	予習：演習事例を読み介護福祉士としての対応をまとめ、レポート作成 (90分) 復習：(90分)
第28回	9. 障害に応じた生活支援技術 ① 認知症	【認知症】	予習：認知症について調べる (90分)
第29回	障害に応じた生活支援技術 ② 認知症の人の生活の理解	【特別養護老人ホーム】【老人保健施設】【グループホーム】	予習：生活の場について調べる (90分)
第30回	障害に応じた生活支援技術 ③ 認知症の人の生活支援技術と環境整備	【小規模多機能型】【訪問介護】【在宅・施設】	予習：在宅での介護についてレポート作成 (90分)
第31回	定期試験(レポート)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	最新 介護福祉士養成講座8 「生活支援技術Ⅲ」	介護福祉士養成講座編集委員会【編】	中央法規出版	9784805883976	2,420円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験 (筆記)	-
学期末試験 (レポート)	50%
実技テスト	-
授業中のテスト	30%
課題 (レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

履修しておくべきことが望まれる科目	認知症の理解 I 障害の理解 I
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし
備考	実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	生活支援技術演習 D
代表ナンバリングコード	0000222301
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222301

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 丸山 俊明	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	赤田 みゆき	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
非常勤講師	内丸 もと子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	<p>【衣】家事支援の個別性・多様性を理解し、高齢者・障害者の衣生活についての知識・技術が現場で応用実践できる。</p> <p>【食】栄養の基礎知識を理解し高齢者、障害者に適した食事管理が実践できる。</p> <p>【住】高齢者や障がいのある人にとって、より好ましい住まいのあり方について総合的に判断できる。</p>
授業概要	<p>【衣】高齢者や障害者の家庭生活と課題を考える。健康・安全・快適性の観点から衣生活に必要な知識・技術を実習をおとして学ぶ。</p> <p>【食】「食べること」の意義を十分理解し、高齢者や障害者の身体機能の変化に即した栄養・食生活のあり方や衛生管理等について講義・実習・演習を行う。</p> <p>【住】住まいに求められるさまざまな要件を整理し、高齢者や障害のある人の特性を踏まえた住まいとは何かについて学ぶ。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	(家)家庭生活の経営 高齢者のくらしを家族・経済などの観点から考える。	【高齢社会と経済】	復習：レポート作成(60分)
第2回	(衣)手縫いの基礎	【手縫いの基礎】 【マスク】	復習：マスクの製作。(60分) 持参：筆記用具、定規、裁縫用具(はさみ、縫い糸、縫い針、まち針)、ボタン、不要の布または服、ボタン、マスク用布(表用、裏用)*裏は特にお肌に優しい素材。(表裏同じ素材でも可。)マスク用軟らかいゴム(不要のインナーやカットソーをカットしてゴムの代わりにするのでも可)
第3回	(衣)衣服の役割を理解する。また、バリアフリーの衣生活を考察する。	【バリアフリーの衣生活】	復習：レポート作成(60分)
第4回	(衣)手縫いの基礎：近江麻を使った花ふきん	【近江麻】 【手縫いの基礎】	復習：花ふきんの製作。(120分) 持参：第2回と同様の持参物、¥300位(花布巾用麻布代)

	の製作		
第5回	(衣)被服の管理：洗濯・保管	【被服の洗濯】【被服の保管】	復習：レポート作成(60分)
第6回	(衣)手縫いの基礎：花ふきんの製作及び製作した花ふきんのパッケージング。	【手縫いの基礎】 【パッケージング】	復習：パッケージングを完成させる。(60分) 持参：第2回と同様の持参物
第7回	(衣)小物の製作：リハビリに役立つ物作り：手織	【手織】	予習：必要なものの準備 復習：作品を完成させる。(60分) 持参：ダンボール(A5サイズくらい)、極太毛糸、毛糸、ファンシーヤーン、筆記用具、はさみ、定規等
第8回	(衣)小物の製作：リハビリに役立つ物作り ゆび編み	【ゆび編み】	復習：作品を完成させる。(60分) 持参：極太毛糸(またはロープ)やファンシーヤーン、はさみ等
第9回	(衣)小物の製作とパッケージング&ディスプレイ物作りを通して、高齢者・障害者の生きがいのある暮らし方について、また、グループ(施設等)でのもの作りについて考察する。	【生きがいのある暮らし】	持参：製作した小物等
第10回	(衣)プレゼンテーション グループ毎にプレゼン発表を行う。	【社会との繋がり】	持参：製作した小物等
第11回	(食)栄養の基礎知識とバランス食とは何かを認識し、高齢者・障害者の食生活の現状と問題点を知り、正しい栄養・食事の在り方、留意点について考察する。	【栄養の基礎知識】	復習：レポート作成(60分)
第12回	(食)「日本人の食事摂取基準」・「メタボリックシンドローム」について理解し、食生活の評価法を習得する。「BMI指数」の算定とその判定区分法を行い、自らの食生活を課題に評価する。	【栄養状態の評価法】	復習：レポート作成(60分)
第13回	(食)「食事バランスガイド」に基づくバランス食の実際(高齢者のための日常食について)	【食事バランスガイドの概要】	復習：レポート作成(60分)
第14回	(食)高齢者・障害者の低栄養予防対策について一低栄養予防、改善のための栄養・食事ケアと栄養確保のための具体策を考察する。	【低栄養の意味と改善策】	復習：レポート作成(60分)
第15回	(食)生活習慣病予防・改善のための食事の実際(食塩制限のための調理上の工夫について)	【生活習慣病予防の食事】	復習：レポート作成(60分)
第16回	(食)衛生管理(施設・食品等)について・・・食器具類の汚染度測定の実際を通して、食中毒予防等衛生管理の重要性を認識する。	【食に関する衛生管理の実際】	復習：レポート作成(60分)
第17回	(食)嚥下・そしゃく等口腔障害のある場合の調理形態についての実際(調理上の工夫やその種類について)	【口腔障害に対応する調理形態】	復習：レポート作成(60分)
第18回	(食)糖尿病食事療法のための「食品交換表」の正しい見方、使い方を習得する。食品交換表を用い、実際の献立について食品分類・単位計算等を行い、食内容の問題点を検索する。	【食品交換表の概要】	復習：レポート作成(60分)
第19回	(食)食事体験を通して食べ方、食べさせ方、	【糖尿病に対応する食事】	復習：レポート作成(60分)

	調理上の工夫、食器具類の選び方など検索する。(糖尿病予防・治療のためのバランス食について)		
第20回	(食)給食と食事援助、栄養食事指導等について各分野での役割について学習する。	【栄養に関連する仕事と役割】	復習：レポート作成(60分)
第21回	(住)住まいの構造を学ぶ(1)	【基礎】【地盤】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：耐震壁の予習(90分)
第22回	(住)住まいの構造を学ぶ(2)	【耐震壁】【非耐震壁】【筋かい】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：軸組構造の予習(60分)
第23回	(住)住まいの構造を学ぶ(3)	【通風】【換気】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：結露の予習(90分)
第24回	(住)住まいの構造を学ぶ(4)	【結露】【断熱材】【熱伝導】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：建材の化学物質の予習(90分)
第25回	(住)住まいの構造を学ぶ(5)	【断面】【階段】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：ユニバーサルデザインの予習(90分)
第26回	(住)バリアフリー・ユニバーサルデザインをまなぶ	【バリアフリー】【ユニバーサルデザイン】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：住宅の化学物質の予習(90分)
第27回	(住)住宅建材の化学物質の影響をまなぶ	【住宅建材】【化学物質】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：ハウスダストの予習(90分)
第28回	(住)ハウスダスト、ダニ、カビをまなぶ	【ハウスダスト】【ダニ】【カビ】	復習：講義内容の振り返り(45分) 予習：高齢者用住宅プランの予習(90分)
第29回	(住)高齢者のための住まいについて、条件にあったプランを作成する①	【生活様式】【ライフスタイル】【条件の整理】	予習：エスキース手法の再確認(90分) 復習：講義内容の見直し(45分)
第30回	(住)高齢者のための住まいについて、条件にあったプランを作成する②	【生活様式】【ライフスタイル】【条件の整理】	復習：エスキース結果のチェック(45分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座6 「生活支援技術Ⅰ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	30%
発表・プレゼンテーション	10%
授業への意欲・姿勢	-
その他	30%

評価の方法(詳細)	【住】講義開始時と終了時に行うミニッツペーパー(コメントシート60%)と提出されたエスキース(30%)、講義に対する姿勢(10%)で評価する。
教材費用・実習費用等の負担費用	【衣】 裁縫道具を各自で準備すること。 材料代500円程度 【食】 実習費用(食材費)(約2,000円)
その他特記事項	三分野の総合評価…【衣】【食】【住】各分野合計で60%以上の特点が単位修得条件 ※分野により授業日程が異なることに注意(各10回、授業日程は別途案内) 【住】AL(講義中にミニッツペーパーを利用して講義内容の理解促進につとめる)席指定、受講条件がある学生は申し出ること
備考	実務家教員(一級建築士) 実務家教員(管理栄養士、スポーツ栄養士)

シラバス参照

講義名	介護過程 I
代表ナンバリングコード	0000221305
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1 Semester (1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221305

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護過程の意義と目的が理解できる。 ② ICFの基本理念が理解できる。 ③ ニーズの把握と情報収集・アセスメントが理解できる。
授業概要	他の科目で学んだ事を活かし、個別ケアを具体的に実践する方法を身に着ける 他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程を展開できる能力を養う 介護過程 I では、「介護過程の意義と目的」「介護における目標・ICFの基本理念」「ニーズの把握と上表収集・アセスメント」等を学習し、介護者としての判断力を養い、自立に向けた介護過程の展開を学習する また、課題解決に向けてアクティブラーニングを取り入れた授業を行う

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション・介護過程とは	【介護過程】	予習：自分の生活を考え、p5のワークシートに記入する。(90分)
第2回	生活支援の考え方と介護過程の必要性 ① アクティブラーニングを用い、お互いの生活について話し合い、発表する	【個別ケア】 【生活支援】	予習：個々の暮らしについて考える(90分)
第3回	生活支援の考え方と介護過程の必要性 ② アクティブラーニングを用い、個別ケアとはどのようなものか話し合い、発表する	【個別ケア】 【生活支援】 【介護過程での気づき】	予習：テキスト p5から7を読んでくる(90分)
第4回	介護過程の意義と目的	【利用者の実像に近づく】	予習：P8~9ワークシート記入(90分)
第5回	対象者の理解 ① 認知症の症状を理解し、	【認知症】	復習：認知症の理解のテキストを読んでく

	症状に違った支援方法を学ぶ		る(90分)
第6回	対象者の理解 ② 障害別支援方法を学ぶ	【障害の理解】	予習：障害の理解のテキストを読む(90分)
第7回	対象者の理解 ③ 高齢者の特徴と支援方法	【高齢者】	予習：高齢者の生活を調べる(90分)
第8回	中間まとめ	【まとめ】	復習：テキストP20を読みp23を記入(90分)
第9回	介護過程の理解・全体像	【ICF】【介護過程の展開方法】	予習：p36のシートを記入し、p39を読む(90分)
第10回	アセスメントについて	【アセスメント】	予習：テキストP40～51を読む(90分)
第11回	情報の収集	【何を情報収集するのか】	予習：課題レポートの作成(90分)
第12回	情報の解釈・関連付け・統合 アクティブラーニングを用い、事例について話し合い、レポートのまとめる	【情報の分析】【情報の解釈】 【情報の統合】	予習：課題レポートの作成(90分) 復習：事例を使ったレポート作成
第13回	課題の明確化	【課題の抽出】	復習：事例を使いレポート作成(90分)
第14回	春学期のまとめ	【アセスメント】【事例の展開】	復習：事例を使いレポート作成(90分)
第15回	春学期のまとめ	【振り返り】	復習：アセスメントについてのレポート作成(90分)
第16回	定期試験(筆記)		
第17回			

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	介護福祉教育研究会「楽しく学ぶ介護過程」改訂第3版	介護福祉教育研究会【編】	久美出版	9784861892622	1,980円
2	最新 介護福祉士養成講座9 「介護過程」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883983	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

履修しておくべきことが望まれる科目 必修科目に含まれているので、特になし

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

備考 実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	介護過程Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000221312
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1.2 Semester (1年次春～秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221312

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標

- ① 介護過程の意義と目的が理解できる。
- ② ICFの基本概念が理解できる。
- ③ 利用者のニーズの把握と情報収集・アセスメントが理解できる。
- ④ 利用者のニーズに合った個別介護計画の立案・実施・修正・評価ができる。

授業概要

他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程を展開し、適切なサービスの提供が出来る能力を養う。

介護の基本的知識の理解と基本的技術の習得に努め利用者の立場、自己支援の視点に立って介護過程の展開を学ぶ。

介護過程Ⅱでは、介護過程の実践的展開を学び、「生活支援の課題・目標の捉え方」「自立に向けた介護過程の展開の実際」「利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開の実際」を学び、個別介護計画の立案・介護サービスの実施・個別介護計画の修正・評価を、事例を交え学習する。

また、利用者の課題解決の為にアクティブラーニングを取り入れた授業を行う

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	情報収集の意義と方法	【情報収集の方法】	復習：アセスメント方法について振り返る(90分)
第2回	情報の分析・課題の明確化 各グループで、アクティブラーニングを用いCさんの事例に基づき情報の分析をしてみる	【情報分析の方法】	予習：テキストP2～9読んでくる(90分)
第3回	介護計画の立案 介護計画とは 各グループで、Cさんの事例をもとにアクティブラ	【介護計画の立案方法】	予習：テキストp10の演習課題の記入(90分)

	ーニングを用い、計画の立案をする		
第4回	目標の設定 Cさんの事例をもとに、各グループでアクティブラーニングを用い、目標を設定する	【長期目標】 【短期目標】	予習：テキストP59～66を読んでくる(90分)
第5回	支援の内容・支援方法の決定 Cさんの事例をもとにアクティブラーニングを用い、各グループで支援内容について話し合い支援方法を定める	【具体的な介護内容】	予習：テキストp59～p66の理解(90分)
第6回	介護計画実施のための準備	【アセスメント】 【介護内容】	予習：テキストp58～66の個別介護計画書を理解する(90分)
第7回	個別介護計画実施時の留意点	【利用者の望む生活】	予習：テキストp60～66の留意点を理解する(90分)
第8回	個別介護計画実施状況の把握	【介護の方向性】	復習：アセスメントから計画の立案の理解(90分)
第9回	記録の意義 各自の実習記録を振り返り、よりよい記録になるようにする	【事実と考察】	復習：事例からレポート作成(90分)
第10回	記録について	【記録の書き方】	復習：事例からレポート作成(90分)
第11回	評価の目的	【評価の必要性】	予習：テキスト75～79を読む(90分) 復習：演習2-7 介護過程における評価の確認
第12回	評価の内容と方法	【評価のポイント】	予習：P82～83の個別介護計画書を評価する(90分)
第13回	個別介護計画の修正	【計画の見直し】	予習：P82～83の個別介護計画を評価する(90分)
第14回	再アセスメントと計画の修正	【目標が達成されなかった原因や理由】	予習：P82～83の個別介護計画を評価する(90分)
第15回	カンファレンスの意義と目的	【カンファレンス】	
第16回	中間まとめ	【中間まとめ】	
第17回	事例の展開とケアカンファレンス	【事例の展開】	予習：介護過程をどう理解したか、事例の展開とレポート作成(90分)
第18回	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	【利用者の特性】	予習：介護過程をどう理解したか、事例の展開とレポート作成
第19回	アセスメントの実際【事例1】 事例の1の利用者のアセスメントを、アクティブラーニングを用い各グループで検討する	【事例】	事例1～4・事例1～6までを読みレポート作成 予習：事例を読みレポート作成
第20回	アセスメントの実際【事例2】 Yさんの事例を通して課題の解決策を見つけるために、話し合う	【Yさんの事例】	
第21回	アセスメントの実際【事例3】 Eさんの事例を通して、課題解決策を見つけるために話し合う	【Eさんの事例】	
第22回	アセスメントの実際【事例4】 Hさんの事例を通して、課題解決策を見つけるために話し合う	【Hさんの事例】	
第23回	アセスメントの実際【事例1】 Mさんの事例を通して課題解決策を見つけるために話し合う	【Mさんの事例】	
第24回	アセスメントの実際【事例2】 Oさんの事例を通して、課題解決策を見つけるために話し合う	【Oさんの事例】	
第25回	アセスメントの実際【事例3】 Sさんの事例を通して、課題解決策を見つけるために話し合う	【Sさんの事例】	
第26回	アセスメントの実際【事例4】 Fさんの事例を通して、課題解決策を見つけるために話し合う	【Fさんの事例】	
第27回	アセスメントの実際【事例5】 Kさんの事例を通して、課題解決策を見つけるために話し合う	【Kさんの事例】	

第28回	アセスメントの実際【事例6】 精神障害がある人の在宅生活を支えるための支援策を、アクティブラーニングを用い各グループで考える	【精神障害のある人の在宅生活を支える支援】	
第29回	まとめ	【事例展開】	復習：「事例を展開してみて」のレポート課題(90分)
第30回	小テスト 振り返り・Ⅱ期実習に向けての留意点	【Ⅱ期実習】 【小テスト】	復習：Ⅱ期実習に向けての振り返り(90分)
第31回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座9 「介護過程」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883983	2,420円
2	介護過程ワークブック		みらい	9784860153908	2,310円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし
備考	実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	介護過程Ⅲ
代表ナンバリングコード	0000222302
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222302

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標

- ① 介護過程の基礎理論を学修し、介護福祉士として利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる。
- ② 介護実習Ⅳのために、チームアプローチにおける介護福祉士の役割が理解できる。

授業概要

介護実習Ⅱを振り返り、自分自身の課題を明確化します。授業内で振り返りシート等の作成を行い、話し合いなどから多様な思考過程について学び、また、課題に取り組みながら、介護実習Ⅳにおける介護過程の展開に向けて、介護過程の実践的展開について学修します。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【介護実習Ⅱの振り返り】 【ストーリーを描く】	
第2回	アセスメントとケアプラン	【介護過程の全体像】 【情報の収集・分析・統合】	予習：前回授業のまとめ(30分) 復習：実際に展開したアセスメントと授業内容を振り返り、まとめる(60分)
第3回	ICFを基盤にした高齢者ケア	【ICF】 【アセスメントの理解】	予習：ICFの復習をし、理解を深める(60分)
第4回	高齢者の特性に応じたアセスメント	【高齢者と障害】 【障害受容】	予習：受容・共感について復習し、理解を深める(60分)
第5回	認知症ケアと介護過程	【中核症状】 【BPSD】	予習：認知症の症状など復習し、理解を深める(60分)

			復習：コミュニケーション技術について復習する(60分)
第6回	介護過程の実践的展開 事例検討①	【アセスメント：情報の分析・統合】 【グループワーク】	予習：情報の収集・分析・統合について復習し、理解を深める(30分)
第7回	介護過程の実践的展開 事例検討②	【アセスメント：情報の分析・統合】 【グループワーク】	予習：情報の収集・分析・統合について復習し、理解を深める(30分)
第8回	授業内試験(筆記)	【中間まとめ】	復習：これまでの学習内容を復習し、理解を深める(90分)
第9回	介護過程の実践的展開 事例検討③	【情報の分析と計画の立案】 【グループワーク】 【国家試験対策】	予習：目標の設定、計画の立案について復習し、理解を深める(30分)
第10回	介護過程の実践的展開 事例検討④	【情報の分析と計画の立案】 【グループワーク】 【国家試験対策】	予習：目標の設定、計画の立案について復習し、理解を深める(30分)
第11回	ICFに基づく具体的な認知症ケア	【認知症高齢者の生活支援】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第12回	自立支援のケアマネジメント①	【介護過程とケアマネジメント】	予習：ケアマネジメントについて教科書を読み、まとめる(30分)
第13回	自立支援のケアマネジメント②	【個別介護計画とケアプラン】 【グループワーク】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第14回	自立支援のケアマネジメント③	【専門職としての視点】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第15回	授業内試験(筆記)	【振り返り・まとめ】	予習：これまでの学習内容を振り返り、まとめる(90分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座9 「介護過程」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883983	2,420円

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介し、配布します。

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	70%
課題(レポートなど)	10%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

評価の方法(詳細)

中間まとめ…30%
最終まとめ…40%

教材費用・実習費用等の負担費用

特になし

その他特記事項

事例検討等グループワークをします。
授業終了15分前にミニツツペーパーを実施します。
レポート課題等は適宜連絡します。
授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある。また、国家試験の模擬試験を実施する場合があります。(講義内にて連絡します)また、講義内容によっては、外部講師が担当する場合があります。

シラバス参照

講義名	介護過程Ⅳ
代表ナンバリングコード	0000222307
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	4セメスター(2年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222307

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護福祉士として利用者が望む「よりよい生活」、「よりよい人生」を実現するために専門的知識を活用できるよう、介護過程の展開の基本的視点が理解できる。 ② 介護福祉士として介護過程の展開に必要な知識・技術・倫理について理解できる。
授業概要	利用者の生活課題の解決と自己実現を目指し、介護過程の知識・技術を小テストなどを通して振り返ります。自分自身の課題に取り組みながら、専門職として利用者にかかわる関係職種との連携や協働などのチームアプローチについて学びます。 また、本科目と関連する介護福祉士国家試験の対策を実施します。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	介護実習の振り返り	【ケアプラン】 【ICF】 【コミュニケーション技術】	予習：介護実習Ⅳの介護過程の展開における課題の整理(90分)
第2回	利用者の立場に立つために	【利用者との関わり】 【自己覚知】	復習：自分の人間観・人生観について整理する(90分)
第3回	医学モデルと社会モデル	【医学モデルと社会モデルの検討】	予習：医学モデルおよび社会モデルについて調べる(60分)
第4回	介護過程とケアマネジメント ①	【介護保険】 【ストレングス視点】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(60分)

第5回	介護過程とケアマネジメント②	【エコロジカル視点】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(60分)
第6回	介護過程とチームアプローチ①	【多職種連携】	予習：教科書を読み、理解する(30分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(30分)
第7回	介護過程とチームアプローチ②	【支援者としての枠組】 【国家試験対策】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(30分)
第8回	授業内試験(筆記)	【レポートまたは筆記】	予習：これまでの授業内容をまとめる(90分) 復習：課題の整理・まとめ(30分)
第9回	事例検討①	【グループワーク】 【国家試験対策】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第10回	事例検討②	【グループワーク】 【国家試験対策】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第11回	事例検討③	【グループワーク】 【国家試験対策】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第12回	介護福祉士とは	【介護福祉士の仕事】 【介護福祉士の専門性】 【国家試験対策】	
第13回	職業倫理	【介護福祉士の現在と未来】 【国家試験対策】	
第14回	介護福祉士としての第一歩	【介護福祉士としての私の課題】 【国家試験対策】	
第15回	振り返りとまとめ	【介護過程の展開】 【専門知識・技術】 【国家試験対策】	予習：これまでの授業の振り返り・まとめ(60分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座9 「介護過程」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883983	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	30%
課題(レポートなど)	10%
各回のコメントシート	10%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

評価の方法(詳細)	定期試験…50% 中間まとめ(筆記又はレポート)…30%
-----------	---------------------------------

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
-----------------	------

その他特記事項	ミニッツレポート、グループワーク、事例検討レポート課題等は適宜連絡します。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することがあります。また、国家試験対策として模擬試験等実施する場合があります(講義内にて連絡します)
---------	--

シラバス参照

講義名	介護総合演習 I
代表ナンバリングコード	0000221306
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221306

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	介護実習Ⅲ（訪問介護5日間）に必要とされる理論・知識・技術等を身につけることができる。
授業概要	この介護総合演習Ⅰは介護福祉士として必要な専門知識と技術を実習によって習得できるよう学習する。グループワークを取り入れ、学生が主体的に福祉施設の職員に実習の注意事項や内容を聞き取り、実習Ⅲの準備をする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【介護実習】	テキストを読み、これから実習にどのように取り組む必要があるのかを考えてくる。 復習(60分)
第2回	介護福祉士の仕事 Ⅱ期実習報告会の説明	【介護福祉士倫理綱領】	予習：(60分) 復習：(60分) テキスト読み、介護福祉士の仕事について調べる。授業終了後、自分の考える介護福祉像についてレポートする。
第3回	Ⅱ期実習報告会参加	【実習】 【報告会】	復習：2年生からⅡ期実習の報告を聞き、 ①全体的な感想 ②介護とはどのようなものと認識したか ③特に興味をもった報告と発表者 ④疑問に思ったこと ⑤今後の介護実習の授業に対する自らの取り組みについての決意 をA4 1枚以上レポートを作成し、報告会担当教員に提出する。復習：(60分)
第4回	Ⅱ期実習報告会参加	【実習】 【報告会】	復習：報告会を聞き、 ①全体的な感想 ②介護とはどのようなものと認識したか ③特に興味をもった報告と発表者 ④疑問に思ったこと ⑤今後の介護実習の授業に対する自らの取り組みについての決意

			A4 1枚以上レポートを作成し、報告会担当教員に提出する。復習(60分)
第5回	社会保障制度 生活保護法 障害者総合 支援法	【生活保護法・障害者総合 支援法】	生活保護法や障害者総合支援法について調べる。予習：(90分) 授業後、レポート作成する。復習(90分)
第6回	社会保障 介護保険	【介護保険】 【施設サービス】 【居宅サービス】	予習：介護保険制度、居宅サービスや施設サービスなどについて調べて、レポート作成する。(90分) 復習：自分の市町村における介護サービスについて調べレポート提出。(90分)
第7回	訪問介護とは	【学生によるグループ活動】	予習：訪問介護について調べ、レポートしてくる(90分) 復習：講義やDVD、訪問介護に対してレポート作成(90分)
第8回	訪問介護とは	【学生によるグループ活動】	予習：訪問介護について調べ、レポートしてくる(90分) 復習：講義やDVD、訪問介護に対してレポート作成(90分)
第9回	調理実習	【調理】	予習：献立作成し、予算内で買物する(90分)
第10回	家事援助とは	【掃除・洗濯】	予習：各自で自分の家の掃除方法や洗濯方法を調べてレポート作成する。(90分)
第11回	訪問介護職員によるオリ エンテーション	【訪問介護】	予習：訪問介護について学んだことから、疑問点や分からないことをレポートにまとめてくる。(90分) 復習：学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。(90分)
第12回	介護記録とは	【記録】	予習：介護記録の必要性や注意点について考えてくる(60分) 復習：自分が介護職としてして、DVDで観た内容を記録する。(60分)
第13回	介護記録とは	【記録】	予習：介護記録の必要性や注意点について考えてくる(60分) 復習：自分が介護職としてして、DVDで観た内容の記録を完成する。(60分)
第14回	実習前準備	【実習施設の発表】 【個人票作成】 【目標の作成】	復習：個人票を完成させる。実習施設について調べる。(90分)
第15回	実習前準備	【注意事項】【実習ハンド ブック】	予習：自分が実習する施設について調べる。(60分) 予習：毎日の実習目標のサンプルを作成する。(60分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習	吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄	みらい	9784860152079	2,310円
2	介護実習で困らないためのQ&A	青木宏心	中央法規出版	9784805850930	1,980円
3	福祉小六法	福祉小六法編集委員会	みらい	9784860154400	1,870円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	40%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	20%
その他	40%

評価の方法(詳細)	その他：調理や家事援助の演習を含む場合もあります。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	介護施設の介護職員より仕事内容や注意事項などを自主的に聞き取りレポートを作成します。(ゲストスピーカー) その前後にグループワークがあります。
備考	実務家教員(看護師) 実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	介護総合演習Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000221313
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2 semester (1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221313

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護現場に必要な知識と技術を習得し、利用者に必要な介護サービスが提供できる。 ② 介護実習で学んだ事を報告会で発表できる。
授業概要	介護老人福祉施設で提供されている介護サービス内容を理解し、「自立に向けたサービスの提供」「個人の尊厳を支えるケア」の実践が出来るようアクティブラーニングを用い学習する 将来、介護福祉士として必要な専門的知識と技術を実習現場で習得できるよう介護過程の展開を理解し、個別介護計画の立案・実施・評価・修正が出来るよう学習する

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	I期実習の事前授業・実習Iの目的と主な介護内容および実習施設の理解	【I期実習の意義・目的】 【実習施設】	予習：テキストp62～65を読んでもくる(90分)
第2回	障害者支援施設の理解・障害者支援施設の説明会	【実習施設の概要】	予習：テキストp93～122を読んでもくる(90分)
第3回	I期実習の配属先発表・個人票の作成	【目標・個人票】	予習：実習の目標を考える(90分) 復習：個人票の完成(90分)
第4回	I期実習に向けて記録の書き方を学ぶ ① VTRの金子さんを事例に事実を記録する	【記録・事実と考察】	予習：テキストp41～47を読んでもくる(90分) 復習：演習課題から記録を作成する(90分)
第5回	I期実習に向けて記録の書き方を学ぶ ② グループで話し合い、VTRから金子さんの行動についての事実と考察を考える	【記録・事実と考察】	予習：テキストp41～47を読んでもくる(90分) 復習：演習課題から記録を作成する(90分)

第6回	2年生実習報告会の実施・参加	【報告会】	
第7回	2年生実習報告会の実施・参加	【報告会】	
第8回	実習帰校日	【カンファレンス資料】	予習：カンファレンス資料の作成(90分)
第9回	I期実習の振り返り・全体の評価・報告書の作成ポイント	【報告会・振り返り】	復習：自分の記録を振り返る(90分)
第10回	I期実習の報告書の作成	【報告会準備】	予習：実習報告書の下書き完成(90分)
第11回	I期実習の報告書の作成	【報告会準備】	予習：実習報告書の下書き完成(90分)
第12回	I期実習報告会	【報告会】	予習：自分の報告原稿を下読みする(90分)
第13回	I期実習報告会	【報告会】	予習：自分の報告会原稿を下読みする(90分)
第14回	II期実習の意義と目的・実習施設の配属発表	【個人票作成】	予習：II期実習の目標を考える(90分) 復習：個人票の作成(90分)
第15回	介護過程の展開方法・II期実習オリエンテーション	【事前オリエンテーション】	予習：介護過程の展開方法を理解する(90分)
第16回			

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	介護福祉用語辞典 (7訂)	中央法規出版編集部【編】	中央法規出版	9784805850947	2,860円
2	介護職・福祉職のための医学用語辞典 (改訂)	大森 正英【編集代表】	中央法規出版	9784805839287	2,860円
3	介護実習で困らないためのQ & A	青木宏心	中央法規出版	9784805850930	1,980円
4	イラストで理解する福祉現場の感染対策	賀来 満夫【監修】	中央法規出版	9784805849262	2,200円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	70%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

備考 実務家教員(介護福祉士)
実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	介護総合演習Ⅲ
代表ナンバリングコード	0000222303
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222303

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護福祉士として、介護実習Ⅳにおける基本的な知識・技術を統合し、介護福祉実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養うことができる。 ② 介護実習Ⅳにおいて質の高い実習を展開するために、介護実習Ⅱを振り返り、介護実習Ⅳの目標設定と課題に対する取り組み、介護福祉の科学的探究の実践ができる。
----------	---

授業概要	総合演習は、質の高い介護実習を展開するために、学生の主体的参加が求められる授業である。介護実習Ⅱの振り返りと介護実習Ⅳに向けての専門知識・技術・介護倫理の確認を行う。介護過程・生活支援技術の基本的知識を学び、実習体験の共有化を相互に図ることで学びを深める。
------	--

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【介護実習Ⅱの振り返りと実習報告会】	予習：介護実習Ⅱにおける介護過程の振り返り(60分)
第2回	介護実習Ⅱの介護過程の内容を理解する	【実習報告会の資料作成】 【知識と技術の統合】	復習：実習報告会の資料作成(90分)
第3回	実習報告会の資料作成	【実習報告会の資料作成】 【知識と技術の統合】	復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ(90分)
第4回	実習報告会(介護実習Ⅱ)	【介護実習Ⅱ】 【情報の共有化】 【介護実践の科学的探究】	予習：報告会資料の整理と発表準備(90分) 復習：報告会の振り返りとまとめ(90分)
第5回	実習報告会(介護実習Ⅱ)	【介護実習Ⅱ】 【情報の共有化】 【介護実践の科学的探究】	予習：報告会資料の整理と発表準備(90分) 復習：報告会の振り返りとまとめ(90分)
第6回	事例検討	【アセスメント】 【情報の共有化】 【グループワーク】	予習：介護実習Ⅱの振り返り(90分) 復習：授業内容の振り返りとまとめ(60分)

第7回	事例検討	【アセスメント】 【個別介護計画】 【グループワーク】	予習：介護実習Ⅱの記録の整理と介護過程のまとめ(90分) 復習：授業内容の振り返りと課題の整理(60分)
第8回	介護実習Ⅱの振り返り	【記録と介護過程】 【生活支援技術】 【情報の共有化と実習課題】	予習：介護実習Ⅱの記録の整理と介護過程のまとめ(90分) 復習：授業内容の振り返りと課題の整理(60分)
第9回	事例検討	【介護倫理】 【相手の立場に立って考える】	復習：授業内容の振り返りとまとめ(60分)
第10回	介護実習Ⅳの意義と目的	【個人表】 【介護実習Ⅳの目標】	復習：実習施設の理解と介護実習Ⅳの目標設定(90分)
第11回	実習個人表の作成	【個人表】 【実習目標】	予習：個人表の作成と提出準備(90分)
第12回	記録と介護過程	【介護実習Ⅳにおける介護過程の展開】	予習：介護過程の基本的な理解(90分) 復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ(60分)
第13回	介護実習計画	【介護実習Ⅳの実習計画】 【情報の共有化】 【多職種協働】	予習：実習報告書の作成と準備(90分) 復習：授業内容の振り返りとまとめ(60分)
第14回	介護実習Ⅳのオリエンテーション	【介護実習Ⅳ事前準備】	予習：実習計画の理解(90分) 復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ(90分)
第15回	帰校日	【記録】 【介護過程】 【カンファレンス】	予習：介護過程・カンファレンスのまとめ(60分) 復習：介護過程・カンファレンスの資料作成(60分)

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習	吉田節子, 川嶋玲子, 後藤真澄 編	みらい	9784860152079	2,310円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験 (筆記)	-
学期末試験 (レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題 (レポートなど)	50%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	30%
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ 介護実習Ⅲ
その他特記事項	ディベート、グループワーク、プレゼンテーション(実習報告会) 授業の進捗によっては、国家試験対策として模擬試験等を実施します。(授業内にて連絡します)

シラバス参照

講義名	介護総合演習Ⅳ
代表ナンバリングコード	0000222308
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	4 semester (2年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222308

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 実習報告書の作成、発表ができる。 ② 介護の現場に必要な基本的な知識と技術が理解できる
授業概要	介護実習Ⅳの報告会など学生が主体的に学修する授業です。資料の作成や発表の準備、担当教員とのかわりなど積極性が必要となります。Ⅳ期実習の振り返りと共有化を図り、卒業後すぐに実践できるさまざまな視点からの技術や知識を報告会や国家試験対策などで学修します。また、前記のとおり介護福祉士国家試験の対策を実施します。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	Ⅳ期実習の振り返り	【報告書作成】	予習：実習の振り返り(90分) 復習：報告書作成(90分)
第2回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習：報告書作成(90分) 復習：報告書作成(90分)
第3回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習：報告書作成(90分) 復習：報告書作成(90分)
第4回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習：報告書作成(90分) 復習：報告書作成(90分)
第5回	Ⅳ期実習報告会	【報告会】 【質疑応答】	予習：発表の準備(90分) 復習：発表の振り返り(90分)
第6回	Ⅳ期実習報告会	【報告会】 【質疑応答】	予習：発表の準備(90分) 復習：発表の振り返り(90分)

第7回	実習報告集作成	【報告集資料作成】	予習：資料作成の準備(90分) 復習：資料作成(90分)
第8回	実践講座①(模擬試験)	【模擬試験】	復習：学びの振り返り(90分)
第9回	実践講座②(模擬試験)	【模擬試験】	予習：事前学習(90分) 復習：学びの振り返り(90分)
第10回	実践講座③	【実践編 国家試験対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第11回	実践講座④	【実践編 国家試験対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第12回	実践講座⑤	【実践編 国家試験対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第13回	実践講座⑥	【実践編 国家試験対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第14回	実践講座⑦	【実践編 国家試験対策】	予習：企画準備、事前学習(90分) 復習：振り返り(90分)
第15回	実践講座⑧	【国家試験対策のまとめ】	復習：振り返り(90分)

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介し、配布します。

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験（筆記）	-
学期末試験（レポート）	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題（レポートなど）	50%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	50%

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項

グループワーク、プレゼンテーション、ディベート
実習報告会を行います
国家試験対策として模擬試験等を実施します。(授業内で連絡します)

[ウィンドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	介護実習 I
代表ナンバリングコード	0000221314
講義区分	実習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221314

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標

- ① 実習施設及び利用者の理解ができる。
- ② 実習で基本的な介護技術を行うことができる。

授業概要

介護実習は、地域の社会福祉施設において学修内容の統合と課題の発見を学生が主体的に行う授業である。実習では実際の福祉施設に行き、そこで働いている実習指導者や他職種の人達から、多くの介護に関する知識や技術等を指導を受ける。今まで大学で学んだ基礎的な介護知識や技術を実際の現場の中で確認し向上させる。介護現場の中でしか学べない施設内での介護福祉士の在り方や毎日の介護記録の書き方、施設利用者とのコミュニケーション技術を学ぶ。

授業計画表

回	学習内容	学習課題（予習・復習）
第1回	実習1の1段階 実習期間は2週間(10日間) 1週間(5日間)づつ、2施設で実習する。状況により1施設10日間の場合もある 実習期間中は現場の実習指導者より指導を受ける。 実習巡回には大学の教員が担当する。	毎日の実習目標 毎日の実習記録 (翌朝、実習指導者に提出)

テキスト					
	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習	吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄	みらい	9784860152079	2,310円
参考書・参考資料等					
<input type="text"/>					
上記到達目標の評価の方法					
					割合
学期末試験 (筆記)					-
学期末試験 (レポート)					-
実技テスト					-
授業中のテスト					-
課題 (レポートなど)					-
各回のコメントシート					-
発表・プレゼンテーション					-
授業への意欲・姿勢					-
その他					100%
履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅱ				
教材費用・実習費用等の負担費用	実習先までの交通費ならびに宿泊における食費等は自己負担となります。				
その他特記事項	この科目は、介護実習事前指導→実習指導→介護実習事後指導で成り立ちます。				
備考	実務家教員(看護師) 実務家教員(介護福祉士)				

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	介護実習Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000221315
講義区分	実習
基準単位数	5
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221315

担当教員		
職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	介護老人福祉施設や介護老人保健施設での実習を行うにあたって、利用者の理解や施設の特徴を学習し、介護過程の展開ができる。
授業概要	実際に介護福祉施設や介護老人保健施設の中で、1人利用者を受け持ち介護過程の展開をしながら個別介護計画のアセスメント・計画の立案・計画の実施・評価・修正を行う

授業計画表		
回	学習内容	【キーワード】
第1回	介護実習Ⅱ(24日間)介護老人保健施設・特別養護老人ホーム 介護実習Ⅱは介護総合演習Ⅱ・Ⅲとリンクする。 この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ 実習期間中は、実習施設の実習指導担当職員の指導を受ける 担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う	【利用者理解】 【カンファレンス】 【介護過程の展開】

テキスト					
	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習	吉田節子 川嶋玲子 子 後藤真澄	みらい	9784860152079	2,310円
参考書・参考資料等					
<input type="text"/>					
上記到達目標の評価の方法					
					割合
	学期末試験 (筆記)				-
	学期末試験 (レポート)				-
	実技テスト				-
	授業中のテスト				-
	課題 (レポートなど)				-
	各回のコメントシート				-
	発表・プレゼンテーション				-
	授業への意欲・姿勢				-
	その他				100%
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし				
その他特記事項	特になし				
備考	実務家教員 (介護福祉士) 実務家教員 (看護師)				

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	介護実習Ⅲ
代表ナンバリングコード	0000221307
講義区分	実習
基準単位数	1
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221307

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー		重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。		—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。		○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。		—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。		—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。		○

本科目の到達目標	① 在宅介護の基本的な知識、生活支援技術の理解ができる。 ② 在宅における介護職の役割が理解できる。
授業概要	介護実習は、地域の社会福祉施設において学修内容の統合と課題の発見を学生が主体的に行う授業である。 介護実習Ⅲでは、介護現場における専門知識や生活支援技術の更なる向上と修得を行う。そして、在宅サービスを利用者とのかかわりを通して、暮らしの場の理解や介護サービスの種類・利用方法等を学ぶ。また、在宅サービスにおける多職種連携について学ぶ。

授業計画表		
回	学習内容	【キーワード】
第1回	介護実習Ⅲ(訪問介護実習) 実習期間は5日間 実習期間中は、実習施設の実習指導担当教員の指導を受ける 担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う 介護実習Ⅲは介護総合演習Ⅰとリンクする この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ	【訪問介護】 【カンファレンス】

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN（ハイフンなし）	価格（税込）
1	ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習	吉田節子 川嶋玲子 子 後藤真澄	みらい	9784860152079	2,310円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験（筆記）	-
学期末試験（レポート）	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題（レポートなど）	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	100%

評価の方法（詳細）	カンファレンスのレジュメ・実習態度・実習記録・毎日の目標の達成度などから総合的に評価する。
履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅰ
教材費用・実習費用等の負担費用	実習施設により交通費等が必要となる

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	介護実習Ⅳ
代表ナンバリングコード	0000222304
講義区分	実習
基準単位数	4
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222304

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 介護現場において専門知識や技術が活用し、介護過程の実践的展開ができる。 ② 個別介護計画が多職種と協働しながら適切に作成、実践できる。
授業概要	介護実習は、地域の社会福祉施設において学修内容の統合と課題の発見を学生が主体的に行う授業です。 介護実習Ⅳでは、介護実習Ⅰ～Ⅲの内容を踏まえて、介護現場における介護知識や介護技術の更なる向上と習得を行います。担当した施設利用者にはどのような介護が良いのかを考えるケアプランの作成と実施に取り組みます。学校ではケアプランの作成のための授業を行っているため、その成果を活かしつつ、実際の現場におけるケアプラン作成の難しさや多職種協働を経験しながら、実習指導者や巡回教員の指導のもとにケアプラン実施のため、介護過程の展開を学びます。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】
---	------	---------

第1回	介護実習Ⅳ・第4段階、実習期間は18日間、実習期間中は、実習施設の実習指導担職員の指導を受ける。担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う。介護実習は学内の介護実習指導とリンクする。この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ。また、実習期間内に帰校日を設定し、実習指導を実施する。	【施設理解】 【利用者理解】 【ケアプラン】 【介護技術】 【多職種連携】
-----	--	---

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習	吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄	みらい	9784860152079	2,310円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験 (筆記)	-
学期末試験 (レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題 (レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	100%

履修しておくべきことが望まれる科目	介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ 介護実習Ⅲ
教材費用・実習費用等の負担費用	交通費、食費、(状況に応じて) 宿泊費等自己負担となります。
その他特記事項	介護実習 (中間及び最終カンファレンスの実施)

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	発達と老化の理解 I
代表ナンバリングコード	0000221402
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221402

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	-
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	-
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	-

本科目の到達目標	① 人間の成長と発達の過程を学び、満足のいく老化を迎える生き方について述べるができる。 ② 生涯発達の各段階の課題について学び、基礎的な理論から老年期の課題について説明できる。 ③ 老化に伴う心身の変化と日常生活への影響を学び、高齢者の生活の質の多様性について述べるができる。
授業概要	① 人間が成長・発達する過程、生涯発達の各段階の課題についての基礎知識を習得する ② 老年期の発達と成熟、老化の概念を習得する ③ 老化に伴う心身の変化、日常生活に及ぼす影響についての基礎知識を習得する ④ 老年期の人間関係、高齢者の支援についての基礎知識を習得する

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	科目ガイダンス 人間の成長と発達 (1) (成長・発達の考え方、成長・発達の原則)	【到達目標】【学習計画】【成長】【発達】 【成長発達の原則】【スキヤモン発育型】 【成長発達への影響因子】【個人差】	予習：テキスト全体に目を通し、教科を概観する。テキスト第1章、第1節.2節.3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP17. 演習1-1.1-2を実施する。(60分)

第2回	人間の成長と発達 (2) (生涯発達「ライフサイクル」の各段階の課題、発達理論)	【ライフサイクルステージ】【発達段階の身体的・精神的・社会的特徴】【発達課題】 【フロイト】【エリクソン】【ピアジェ】 【ハヴィガースト】	予習：テキスト第2章、第1節.2節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第3回	人間の成長と発達 (3) (発達段階別にみた成長と発達、発達の評価)	【乳児・幼児・学童・青年・成人各期のところからだ】【カウプ指数】【ローレル指数】【BMI】	予習：テキスト第2章、第3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第4回	人間の成長と発達 (4) (形態的成長、身体・精神機能の発達、心理社会的発達)	【スティグリッツの生体諸機能の変化】【身体バランス】【ホルモン】【免疫】【視覚・聴覚】【言語】【情緒】【社会性】【愛着】	予習：テキスト第2章、第4節.第5節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP67、演習2-1.2-2、P68、演習2-3.2-4を実施する。(60分)
第5回	老年期の発達と成熟 (1) (老年期と老化の定義、老化の学説)	【老年期】【老化】【加齢】【加齢性変化】	予習：テキスト第3章、第1節.2節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第6回	老年期の発達と成熟 (2) (老年期の発達課題、老年期のセクシュアリティ)	【老年期の発達課題】【性格】【人格と尊厳】【セクシュアリティ】	予習：テキスト第3章、第3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第7回	老年期の発達と成熟 (3) (老年期の喪失体験、老年者の死)	【生老病死】【喪失体験】【悲嘆】 【死へのプロセス】【リビングウィル】【尊厳死】	予習：テキスト第3章、第3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP107.演習3-1.3-2を実施する。(60分)
第8回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響 (1) (加齢による生理機能の全体的低下、身体機能の低下)	【身体予備力】【身体防衛機能】【恒常性】 【加齢による生理的变化-循環器系、呼吸器系】	予習：テキスト第4章、第1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第9回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響 (2) (身体機能の変化)	【加齢による生理的变化-脳神経系、骨・関節・筋肉(運動器)系、造血器系、内分泌系】	予習：テキスト第4章、第1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第10回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響 (3) (身体的機能の変化)	【加齢による生理的变化-消化器系、泌尿器系、生殖器系、感覚器系】	予習：テキスト第4章、第1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP141-142.演習4-1を実施する。(60分)
第11回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響 (4) ①知的・認知機能、精神的機能の変化 ②高齢者の心理	【知的・言語・認知機能】【記憶】【ジェネレーションギャップ】【老性自覚】【心身機能の個人差】 【高齢者のさまざまな気持ち】	予習：テキスト第4章、第2節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP163.演習4-2.4-3を実施する。(60分)
第12回	老化に伴う社会的な変化と生活への影響	【少子高齢社会の課題】【世帯構造と家族関係】【介護(者)問題】【エイジズム】 【高齢者の就労状況】 【高齢者の社会参加状況】	予習：テキスト第3章、第4節、第4章、第3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP185.演習4-4を実施する。(60分)
第13回	高齢者を取り巻く社会の動向 (1) (老年観、高齢者の健康)	【老年観】【平均余命】【健康寿命】 【疾病構造】 【サクセスフルエイジング】 【アクティブエイジング】 【プロダクティブエイジング】	予習：テキスト第5章、第1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)

			める。(30分) テキストP195. 演習5-1を実施する。(60分)
第14回	高齢者を取り巻く社会の動向(2) (高齢者福祉、高齢者医療、関連法律)	【高齢社会対策基本法】【ゴールドプラン21】【介護保険法】【高齢者医療確保法】 【地域包括ケアシステム】	予習：事前の配布資料を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) 学期末試験練習問題を解く(60分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、知識の確認	【到達目標の達成度】 【学期末試験練習問題解答会】	予習：学期末試験練習問題を解く(90分) 復習：学期末試験練習問題・解答を振り返り、ポイントをまとめる。(90分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884010	2,420円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	20%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	15%

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項
・理解促進テスト法
・質問法
・ミニッツペーパー

備考 実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	発達と老化の理解Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000222401
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222401

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標	① 高齢者に多い症状と日常生活における留意点を理解し、説明ができる。 ② 高齢者に多い病気と日常生活での注意点について理解し、説明ができる。 ③ 高齢者の検査の意義や薬の管理及び緊急時の対応について理解し、説明ができる。
授業概要	老年期の心身の変化や課題を理解し、高齢者に多い症状や疾病の特徴を心身および社会的側面から捉え、対処するための基本的知識と対応の方法を学ぶ。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	科目ガイダンス 高齢者の症状・疾患の特徴	【到達目標】【学習計画】【慢性的な経過】【複数疾患】【非定型な症状】【痛みを感じにくい】 【閉じこもり】【廃用症候群】【老年症候群】	予習：「高齢者の症状・疾患の特徴」(テキストP196-200)を読み、内容をイメージする。(45分) また、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(45分) テキスト全体に目を通し、教科を概観する。 復習：配布資料を振り返り、当日の授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP201演習5-2を実施する。(60分)
第2回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(1) 骨格系・筋系の疾患の概要、原因、	【骨粗鬆症】【高齢者に多い骨折-脊椎圧迫骨折、大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折】 【変形性膝関節症】 【関節リウマチ】 【変形性脊椎症】 【脊柱管狭窄症】	予習：テキストP202-217を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)

	症状、治療、生活上の留意点・支援		
第3回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(2) 脳・神経系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援 皮膚・感覚器系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【パーキンソン病】【脳血管疾患-脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血】【意識障害】【吐き気・嘔吐】【頭痛】【麻痺】【失語】【構音障害】【失認】【白内障】【緑内障】【加齢黄斑変症】【老人性(感音性)難聴】【老人性皮膚掻痒症】【疥癬】【白癜】	予習：テキストP217-223、P223-227を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第4回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(3) 循環器系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【高血圧症】【虚血性心疾患-狭心症、心筋梗塞】【不整脈】【ペースメーカー】【心不全】【閉塞性動脈硬化症】	予習：テキストP228-235を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第5回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(4) 呼吸器系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【慢性閉塞性肺疾患】【肺炎】【気管支喘息】【結核】【呼吸困難】【咳】【痰】【発熱】【酸素吸入】【呼吸リハビリテーション】	予習：テキストP236-241を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第6回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(5) 消化器系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援 腎・泌尿器系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【胃潰瘍】【十二指腸潰瘍】【逆流性食道炎】【肝硬変】【C型・B型肝炎ウイルス】【前立腺肥大症】【前立腺がん】【尿路感染症】【慢性腎臓病(慢性腎不全)】	予習：テキストP241-246、P246-251を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第7回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(6) 内分泌・代謝系の疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【糖尿病】【高血糖・低血糖】【糖尿病性神経障害】【糖尿病性網膜症】【糖尿病性腎症】【脂質異常症】【痛風(高尿酸血症)】【メタボリックシンドローム】	予習：テキストP251-258を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第8回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(7) 歯・口腔疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援 悪性新生物(がん)の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【虫歯】【歯周病】【ドライマウス】【胃がん】【肺がん】【大腸がん(結腸・直腸)】	予習：テキストP259-265、P265-271を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第9回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(8) 感染症の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援 精神疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援	【ウイルス性呼吸器感染症(インフルエンザ)】【感染性胃腸炎】【胆のう炎・胆管炎】【疥癬】【MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)】【敗血症】【腸管出血性大腸菌(o-157)感染症】【ノロウイルス感染症】【スタンダードプリコーション】【うつ病】【統合失調症】	予習：テキストP271-277、P277-281を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第10回	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点(9) 近年特に話題となっている疾患の概要、原因、症状、治療、生活上の留意点・支援 介護保険の特定疾	【熱中症】【脱水症】【貧血】【筋萎縮性側索硬化症(ALS)】【脊髄小脳変性症】【早老症(ウェルナー症候群)】【後縦靭帯硬化症】【がん末期】	予習：テキストP281-287を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難などところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP292-293の演習5-3を実施する。(60分)

	患の定義、原因、症状、治療、生活上の注意点・支援		
第11回	高齢者の検査の意義と結果の把握、患者指導 (高齢者の検査の特徴、高齢者の検査及び検査値設定の留意点、各検査項目の意義)	【血清総たんぱく】【アルブミン】【血清脂質】 【肝機能】【腎機能】【電解質】【赤血球】【白血球】 【ヘモグロビン】【ヘマトクリット】【胸部X線検査】 【心電図】【肺活量】	予習：事前の配布資料を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第12回	高齢者の薬の管理 (薬の種類・形態、薬の作用・副作用、薬の保管、服薬介助)	【薬の吸収と動態】【散剤・顆粒剤・錠剤・カプセル剤・液剤・坐薬・軟膏・貼付剤】 【介護福祉士が実践可能な業務】	予習：事前の配布資料を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第13回	緊急時の介護 (緊急時に備える、事故が起こった際の対応、急な体調変化への対応)	【身体状態の見分け方】【情報把握】【連絡・支援体制】 【救急要請】【意識の異常】【痙攣】【体温上昇】 【呼吸異常】【脈の異常】【高血圧・低血圧】 【胸痛】【脱水】【嘔吐】【転倒・転落】 【誤飲・誤薬】【熱傷】【骨折】	予習：事前の配布資料を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第14回	保健医療職との連携	【連携の必要性】【連携の方法】 【専門職との連携】 【地域包括ケアシステム】	予習：テキストP294-297を読み、内容をイメージし、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP299. 演習5-4を実施する(60分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、知識の確認・強化	【到達目標の達成度】 【学期末試験練習問題解答会】	予習：学期末試験練習問題を解く(90分) 復習：学期末試験練習問題・解答を振り返り、ポイントをまとめる。(90分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884010	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	20%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	15%

履修しておくべきことが望まれる科目	発達と老化の理解 I
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・理解促進テスト法 ・質問法 ・ミニッツペーパー
備考	実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	認知症の理解 I
代表ナンバリングコード	0000221403
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2 Semester (1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221403

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 残華 雅子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—
本科目の到達目標	① 認知症の基礎知識を理解し、ケアの実際に生かすことができる。 ② 認知症の人の心理的特徴を理解し、生活の不自由さについて考えることができる。 ③ 認知症の人の生きる思いや悩みについて考えることができる。 ④ 認知症の人のケアを理解し、ケアの基本について考えることができる。
授業概要	① 高齢社会における認知症ケアの将来に向けての保健・医療・福祉援助の視点を習得する ② 認知症の定義、原因となる主な疾患、類似症状等の基礎的知識を習得する ③ 認知症ケアの前提となるアセスメント法や見立てを習得する ④ 認知症ケアの理念・原則、かかわりの基本について習得する ⑤ 認知症者とのコミュニケーションを理解し、その基本を習得する 各項目の習得にあたっては、各講義終了前の10分程度でレスポンスペーパーを書き提出する。その結果やコメントはプライバシーに配慮しながら次回講義でフィードバックする。さらに、体験実習や事例紹介から自己を見直し、主体的なかかわりを促す。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	はじめに：認知症を取り巻く状況について	【認知症の歴史】 【ケアの現状】	予習：テキストの「はじめに」を読み、全体に目を通す(180分)
第2回	認知症の基礎知識：認知症とは何か	【定義】 【疾患別頻度】 【高齢社会と今後】	復習：認知症の定義をまとめる(120分) 予習：認知症の症状を調べる(120分)
第3回	認知症の基礎知識：認知症の中核症状	【中核症状】 【重症度】	復習：認知症の症状をまとめる(120分) 予習：認知症のアセスメントを概観する(120分)
第4回	認知症の基礎知識：認知症の周辺症状	【BPSD 周辺症状】 【人格変化】 【重症度】	復習：認知症の症状をまとめる(120分) 予習：認知症のアセスメントを概観する(120分)
第5回	認知症の基礎知識：認知症のアセスメント	【アセスメント法】 【スクリーニング検査】 【MMSE】 【行動観察尺度】 【ADL評価尺度】	復習：アセスメント法を確認する(120分)

			予習：認知症と間違われやすい状態を調べる(120分)
第6回	認知症の基礎知識：認知症の発症因子	【原因疾患】【アルツハイマー型認知症】【レビー小体型認知症】【前頭側頭葉変性症】【ピック病】【血管性認知症】【正常圧水頭症】【内分泌代謝疾患】【精神作用・薬物】【若年性認知症】	復習：認知症の発症因子をまとめる(120分) 予習：治療、発症機序など、軽度認知症について資料を調べる(120分)
第7回	認知症の基礎知識：認知症と間違われやすい状態	【間違われやすい状態】【うつ】【せん妄】【身体疾患】【薬物】【鑑定ポイント】【事例】	復習：認知症と間違われやすい状態を確認する(120分) 予習：認知症の発症因子を一覧表にする(120分)
第8回	認知症の基礎知識：治療と発生機序、危険因子 軽度認知症 基礎知識のまとめ	【薬物療法】【非薬物療法】【発生機序】【神経原線変化】【老人斑】【生活習慣病】【アミロイドβ蛋白】【遺伝子変異】【危険因子】【軽度認知障害MCI】	復習：治療、発生機序、危険因子、軽度認知症について確認し要約する(120分) 予習：認知症のケアの原則を一覧表にまとめる(180分)
第9回	認知症者に対するケアの基本：認知症者への基本的ケア	【基本的ケア】【見守り】【健康管理】【かかわり】【五感】【興味・関心】【気分転換】【チームケア】【行動変容】【リハビリテーション】【基本的欲求】【家族ケア】	復習：認知症者への基本的ケアを確認(120分) 予習：認知症アセスメントを一覧表に(120分)
第10回	認知症者に対するケアの基本：認知症アセスメント	【健康】【安全】【自立支援】【安心】【個別性】【支援体制】	復習：認知症アセスメントを確認する(120分) 予習：生活支援・ターミナルケアをまとめる(120分)
第11回	認知症者とのコミュニケーション：コミュニケーションの基盤	【コミュニケーション】【尊厳とケアの質】 【ケアの理念・目的】【家族の生活史】	復習：コミュニケーションの基盤をまとめる(120分) 予習：事例を読み、問題点をまとめる(120分)
第12回	認知症者に対するケアの基本：認知症者の生活支援	【生活環境づくり】【食事環境】【服薬】【排泄】 【清潔】【姿勢と動作】【活動と休息】【更衣】	復習：生活支援・ターミナルケアを確認(180分) 予習：コミュニケーションの基盤の下調べ(120分)
第13回	認知症者に対するケアの基本：認知症者の生活支援・ターミナルケア 基本的ケアのまとめ	【ユマニチュード】【ターミナルケア】【死生観】	復習：生活支援・ターミナルケアを確認(180分) 予習：コミュニケーションの基盤の下調べ(120分)
第14回	家族への支援・人権擁護 全体のまとめ	【家族支援】【社会支援】【人権擁護】【成年後見制度】 【日常生活自立支援事業】	復習：家族支援・人権擁護を確認し、全体をまとめる(180分)
第15回	チーム・地域で取り組む認知症ケア	【チームケア】【居住環境】【コミュニティ】【地域連携】 【まちづくり】【地域ケアシステム】【リスクマネジメント】 【地域包括支援センター】【高齢者虐待】	復習：地域で取り組むケアを確認する(120分) 予習：家族支援・人権擁護を調べる(120分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

参考書・参考資料等

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハフナなし)	価格(税込)
1	認知症の理解			9784623065271	

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	70%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	30%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用 特になし

その他特記事項 各講義終了前の10分程度でレスポンスペーパーを書き提出する。その結果やコメントは次回講義でフィードバックする。

シラバス参照

講義名	認知症の理解Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000222402
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3 semester (2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222402

担当教員		
職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 認知症の人の生活の不自由さを学び、認知症ケアについて事例を通して考察できる。 ② 認知症の人の家族の気持ちや悩みについて学び、他職種との連携・協働、公的サービスの利用について説明できる。 ③ 演習を通して自己の介護観を育み、表現することができる。
授業概要	① 家族の葛藤・介護力、在宅ケアの実際を習得する ② 認知症の人の権利を守る諸制度、行政・施策を習得する ③ 介護現場の指導者と共にⅠ・Ⅱ期実習をふりかえり、認知症ケアの実際について考察する ④ 認知症ケアにおける今日の課題について関心をもち、考えることができる ⑤ アクティブラーニングの手法を用い、学生一人ひとりが認知症ケアについて自己の考えを述べ、他者の意見に耳を傾け協議することができる

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション・認知症を取り巻く現状	【認知症の歴史】【新レジブラ】	予習：テキストを読むP2~10(90分)
第2回	認知症ケアにおける歴史(DVD鑑賞)	【認知症介護】	予習：テキストを読んでくるp6~15(90分)
第3回	認知症ケアの理念と視点(DVD鑑賞の続き)・認知症ケアについての検討	【ICF】【家族支援】	復習：演習1-1 (90分) 演習1-4
第4回	「施設における認知症ケアの実際①」 認知症の人の行動・心理的理解 認知症の人のBPSDはなぜ起こるのか、グループで討議し発表する	【BPSD】	復習：中核症状とBPSDに関するレポート課題(90)
第5回	「施設における認知症ケアの実際②」 老化の仕組みと脳の変化	【脳の機能】【能の変化】	予習：テキストp24~51読んでくる(90分)
第6回	介護老人福祉施設で働く職員のプレゼンテーションを聴く・演習(Ⅱ期実習のふりかえり、Ⅱ期実習の学び)	【自己の介護観】	復習：自分のプランの見直し(90分)
第7回	認知症の原因疾患	【アルツハイマー型認知症】 【脳血管性認知症】 【レビー小体型認知症】【ピック病】	予習：p58~83まで読んで理解する(90分) 復習：演習課題2-5

第8回	若年性認知症 DVD鑑賞 DVDを観て、どのような介護が必要かグループで討議し発表する	【若年性認知症】	復習：DVDを観てのレポート課題作成(90分)
第9回	中間まとめ、小テスト	【到達目標の達成】【考察】	復習：テキストを読んでまとめる(90分)
第10回	「ご家族による認知症ケアの実際①」 認知症の人と家族の会(滋賀県支部)	【在宅介護】【男性家族による介護の特徴】【レスパイト】 【家族会の活動】 【住みなれた地域】	
第11回	認知症の人を介護するために 家族のレスパイトや本人の暮らしについてグループで討議し発表する	【本人の声】【家族の声】	復習：演習課題3-1・3-2(90分)
第12回	認知症の人の生活の理解	【人と生活】【家族支援】	予習：テキストp124~143を読んで理解しておく(90分)
第13回	認知症の人のケアと権利を守る ①認知症の人の権利、成年後見制度 ②虐待防止	【地域包括支援センターの活動】 【倫理綱領】【人権・権利・尊厳】 【成年後見制度】【事故防止】	予習：テキストp144~182を読む(90分)
第14回	認知症の人のケアと権利を守る ③認知症になっても安心して暮らせる社会へ グループディスカッション・発表	【地域包括支援センターの活動】 【倫理綱領】【人権・権利・尊厳】 【成年後見制度】【事故防止】	予習：テキストp278~300を読む(90分)
第15回	まとめ、小テスト	【自己の変化・成長】【社会人基礎力】	予習：演習課題7-2・7-3(90分)
第16回	定期試験(レポート)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座13 「認知症の理解」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884027	2,420円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	60%
実技テスト	-
授業中のテスト	20%
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	20%

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし
備考	実務家教員(介護福祉士)

シラバス参照

講義名	障害の理解 I
代表ナンバリングコード	0000221404
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221404

担当教員		
職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	-
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	-
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	-

本科目の到達目標	① 肢体不自由(運動機能障害)の原因や状態像を理解し、説明できる。 ② それぞれの内部障害の原因や病態像を理解し、説明できる。 ③ 障害のある人の生活を理解し、本人及び家族への介護のあり方を説明できる。 ④ 障害のある人の生活を支援するための社会資源の活用や関連職種との協働・連携の必要性を理解し、説明できる。
授業概要	・障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得する。 ・障害のある人の体験を理解し、本人及び介護者を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	科目ガイダンス 障害の概念、障害者の定義、国際生活機能分類(ICF)	【到達目標】【学習計画】【障害】【障害者】【ICF】 【障害が及ぼす心理的影響】	予習：テキスト全体に目を通し、教科を概観する。テキスト第1章、第1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第2回	障害者福祉の基本理念、障害者福祉に関	【ノーマライゼーション】【リハビリテーション】【インクルージョン】【国際障害者年】【障害者基本法】	予習：テキスト第1章、第2節、3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところ

	連する制度	【障害者総合支援法】 【障害者差別解消法】	ろにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP45. 演習1-1、P46. 演習1-2を実施する。(60分)
第3回	肢体不自由(運動機能障害とは)運動機能障害(上下肢の機能障害)のある人の生活	【肢体不自由の定義】 【状態像・原因】 【上下肢の機能障害の形態】 【脳血管障害後遺症】 【麻痺】 【慢性関節リウマチ】	予習：テキスト第2章、第2節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第4回	運動機能障害(体幹の機能障害及び中枢神経系の障害)のある人の生活	【体幹の機能障害】 【脳性麻痺】 【脊髄・頭髄損傷】 【中枢神経系の機能障害】 【障害受容】	予習：テキスト第2章、第2節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第5回	内部障害(心臓機能障害)のある人の生活	【心臓機能障害の種類・原因・特性】 【虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)】 【心不全】 【不整脈】 【ペースメーカー】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第6回	内部障害(腎臓機能障害)のある人の生活	【腎臓機能障害の種類・原因・特性】 【慢性腎不全】 【血液透析】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第7回	内部障害(呼吸器機能障害)のある人の生活	【呼吸器機能障害の種類・原因】 【慢性閉塞性肺疾患】 【間質性肺炎】 【在宅酸素療法】 【気管切開】 【人工呼吸器】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第8回	内部障害(膀胱・直腸機能障害)のある人の生活	【膀胱・直腸機能障害の種類・原因・特性】 【膀胱留置カテーテル】 【尿路ストマ】 【腸管ストマ】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第9回	内部障害(小腸機能障害)のある人の生活	【小腸機能障害の種類・原因・特性】 【クローン病】 【腸管ペーチェット病】 【経管栄養法】 【中心静脈栄養法】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第10回	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障害のある人の生活	【HIVによる免疫機能障害の種類・原因・特性】 【ヒト免疫不全ウイルス(HIV)】 【後天性免疫不全症候群(AIDS)】 【日和見感染】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第11回	肝臓機能障害のある人の生活	【肝臓機能障害の種類・原因・特性】 【ウイルス肝炎】 【肝硬変】	予習：テキスト第2章、第6節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP158. 演習2-1を実施する(60分)
第12回	高次脳機能障害のある人の生活	【高次脳機能】 【高次脳機能障害の定義】 【高次脳機能障害の原因・症状・特性】	予習：テキスト第3章、第3節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第13回	難病のある人の生活	【難病の定義】 【難病の種類・原因・特性】 【筋萎縮性側索硬化症(ALS)】 【パーキンソン病】 【全身性エリテマトーデス(SLE)】 【難病対策】	予習：テキスト第3章、第5節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP218、演習3-1を実施する。(60分)
第14回	知識の補充・強化：肢体不自由(運動機能障害)、内部障害、高次脳機能障害、難病	【肢体不自由(上下肢・体幹機能障害)】 【中枢神経系の機能障害】 【心臓機能障害】 【呼吸器機能障害】 【腎臓機能障害】 【膀胱・直腸機能障害】 【小腸機能障害】 【肝臓機能障害】 【ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障害】 【失語症】 【ALS】 【SLE】 【パーキンソン病】	予習：学習範囲の配布資料を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) 学期末試験練習問題を解く。(60分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、知識の確認・	【到達目標の達成度】 【学期末試験練習問題解答会】	予習：学期末試験練習問題を解く。(90分) 復習：学期末試験練習問題・解答を振り返

	強化		り、ポイントをまとめる。(90分)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座14 「障害の理解」第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884034	2,420円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	50%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	-
課題(レポートなど)	15%
各回のコメントシート	20%
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	15%

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・理解促進テスト法 ・質問法 ・ミニッツペーパー
備考	実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	障害の理解Ⅱ
代表ナンバリングコード	0000222403
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222403

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標	① 障害のある人の心理・社会機能に関する基礎的知識を理解できる。 ② 障害のある人の体験を理解し、本人を取り巻く周囲の環境や自立に向けた生活支援の視点を理解できる。 ③ 支援のためのチームアプローチや組織・機関の連携を理解できる。 ④ 障害のある人やその家族に対する支援のあり方や社会資源の活用の仕方を理解できる。
----------	--

授業概要	障害の概念や福祉の基本理念を理解するとともに、それぞれの障害に関する症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解し、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための知識を習得する学習とする。学習内容によっては関連する章の利用者課題を提供し、問題解決のためのグループワークを行う。知識の確認のために、まとめのテストを行う。
------	--

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション 第1章 障害の概念と障害者福祉の基本理念 第1節 障害の概念	障害の定義と分類 国際障害分類 国際生活機能分類 障害者の定義	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる

第2回	第1章 障害の概念と障害者福祉の基本理念 第1節 障害の概念 第2節 障害者の基本理念	障害の定義と分類 国際障害分類 国際生活機能分類 障害者の定義 ノーマライゼーション リハビリテーション インクルージョン エンパワメント ストレngths	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第3回	第3節 障害者福祉に関連する制度 第4節 障害者福祉制度と介護保険制度	障害者総合支援法 障害者差別解消法 障害者虐待防止法 成年後見制度 介護保険制度 障害者福祉制度	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第4回	第2章 障害者別の基本的理解と特製に応じた支援 第3節 視覚障害	視覚障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第5回	第4節 聴覚・言語障害	聴覚障害 伝音性難聴 感音性難聴 構音障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第6回	第5節 重複障害 DVD[もうろうを生きる]グループワーク 第7節 重症心身障害	重複障害 重症心身障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第7回	前期まとめ 1章 2章 章末テスト		予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②章末テスト問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第8回	第3章 障害別の基本的理解と統制に応じた支援Ⅱ 第1節 知的障害	IQ 療育手帳	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第9回	第2節 精神障害①	ICD-10 精神作用物質使用による精神及び行動障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第10回	第2節 精神障害②	統合失調症 気分障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第11回	第4節 発達障害① DVD「自閉症の子どもたち」グループワーク	ICD-10 自閉症	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる

第12回	第4節 発達障害②	学習障害 ADHD 発達障害者支援センター	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第13回	第4章 連携と協働	機関相談支援センター 協議会 チームアプローチ	予習(90分) 復習(90分) ①中間まとめテストの学習 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第14回	第5章 家族の支援	障害受容	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第15回	後期まとめ 3章(1・2・4節)4章5章 章末テスト		予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない専門用語を調べる。 ②章末テストの問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座14 「障害の理解」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884034	2,420円
2	書いて覚える! 介護福祉士国家試験合格ドリル	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規出版	9784805855225	1,980円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	80%
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	10%
授業への意欲・姿勢	10%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	グループワーク
備考	実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの基礎 A
代表ナンバリングコード	0000221401
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)、選択(児童学、キャリア)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	なし

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科児童学コース	0000211603
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221401

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

ディプロマポリシー

	重要度
① [児] 幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。 [健] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。 [キ] 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② [児] 幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 [健] 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 [キ] 日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ [児] 教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。 [健] 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。 [キ] 他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によつて的確に伝えることができる。	—
④ [児] 自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 [健] 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 [キ] 自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。	○
⑤ [児] 専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力を持ち、地域社会の一員として適切な行動ができる。 [健] 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。 [キ] 人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。	—

本科目の到達目標

- ① 介護に必要な医学知識・技術の基本となる人体の構造や機能について理解、説明できる。
- ② 介護を行う際、必要な人体のしくみやはたらき、およびその病的な状態について理解し、説明できる。
- ③ 介護サービスの提供時における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解し、実践で

きる。
④ ころとからだの連携について理解し、全人的なみかたを学修し、説明できる。

授業概要

介護の基礎となる生命の維持・恒常のしくみ、基本的な人体の構造や機能を理解し、ころとからだの老化、障がい、主な疾患についても理解を深める。利用者の状態をみて、ころとからだの両面から、その状態がどのような要因から引き起こされているのか、生活や行動にどのようにつながっていくのかなど、根拠をもって理解・判断できるように医学的知識を修得する。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	「健康」とは何か	【健康とは】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第2回	からだのしくみを理解する ①	【脳神経】【感覚器】【呼吸器】【循環器】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第3回	からだのしくみを理解する ②	【消化器】【泌尿器】【骨・筋肉・関節】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第4回	からだのしくみを理解する ③	【神経系】【生殖・内分泌】 【血液】【他】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第5回	移動に関連したころとからだのしくみ	【移動のしくみ】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第6回	身じたくに関連したころとからだのしくみ	【身じたくのしくみ】	復習：履修内容(90分) 予習：第1～6回授業内容を復習し、小テストの準備をする(120分～)
第7回	ふり返りとまとめ ①	【小テスト】	復習：小テストで理解が不十分であったところ(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第8回	食事に関連したころとからだのしくみ	【食事のしくみ】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第9回	入浴・清潔保持に関連したころとからだのしくみ	【入浴・清潔保持のしくみ】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第10回	排泄に関連したころとからだのしくみ	【排泄のしくみ】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第11回	休息・睡眠に関連したころとからだのしくみ	【休息・睡眠のしくみ】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第12回	ころのしくみを理解する	【欲求】【自己実現】【尊厳】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第13回	人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみ ①	【死のとらえ方ところの理解】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第14回	人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみ ②	【終末期】【多職種連携】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、小テストの準備をする(120分)
第15回	ふり返りとまとめ ②	【小テスト】	復習：履修範囲全体の俯瞰(180分～)、教科評価
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	最新 介護福祉士養成講座11 「こころとからだのしくみ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	2,860円
参考書・参考資料等					
<input type="text"/>					
上記到達目標の評価の方法					
					割合
学期末試験 (筆記)					40%
学期末試験 (レポート)					-
実技テスト					-
授業中のテスト					30%
課題 (レポートなど)					15%
各回のコメントシート					-
発表・プレゼンテーション					-
授業への意欲・姿勢					-
その他					15%
評価の方法 (詳細)	学期末試験 (筆記)、講義中の予習テスト、提出していただいたレポート等を合わせた総合評価といたします。				
履修しておくべきことが望まれる科目	これまでに学修した理科、生物を思い出しておいてください				
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし				
その他特記事項	<p>反転授業、予習・講義・復習テスト方式で学修。基礎的な知識の定着を図り、課題レポート作成により考える習慣を形成していきます。受講他者のレポートも読む機会をつくり、多様性について理解を深め、学び合い、教え合いを大切にしています。受講に際しては、テキスト、その他参考資料の予習や読み込みが必須であり、予習が済んでいることが前提の講義・進行となります。</p> <p>「お知らせ」等連絡を学内ポータル「メッセージ」からしています。反転学修用URLは授業時に開示</p>				
備考	実務家教員 (医師)				

[ウインドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの基礎B
代表ナンバリングコード	0000221405
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221405

担当教員		
職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標	① 介護技術の根拠となる、人体の構造や機能を理解し説明できる。 ② 機能低下が及ぼす、さまざまなこころとからだへの影響を予測でき説明できる。
授業概要	からだとこころのしくみ、みじたく、活動・移動に関連したしくみについて学習していく。事前学習としてテキストを読み、医学用語を調べ学んだことを考察したレポートを作成する。復習として授業を通して学んだことの考察を毎回の課題とする。各章のテストを行い、知識の再認識をしていく。章によって利用者の課題を提供して課題解決のためのグループワーク・発表を行う。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 序章 「健康」とは	【健康寿命】 【ホメオスタシス】	予習：(90分) 復習：(90分) ①今までのこころとからだのしくみの基礎Aを復習する。 ②序章を読み、分からない医学用語を調べる
第2回	第2章 からだのしくみを理解する。 第1節 からだのしくみ P42-53	【脳】 【中枢神経】 【末梢神経】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。

			②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる。
第3回	第2章 からだのしくみを理解する。 第1節 からだのしくみ P58-60 74-78 78-80	【呼吸器】【循環器】【内分泌】【ホルモン】 【血液】【リンパ】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる。
第4回	第2章 からだのしくみを理解する。 第1節 からだのしくみ まとめ	【脳】【中枢神経】【末梢神経】【内分泌】【ホルモン】【血液】【リンパ】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる。
第5回	第1章 こころのしくみを理解する 第1節 人間の欲求とは	【マズロー】【基本的欲求】【社会欲求】【成長欲求】【欠乏欲求】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第6回	第1章 こころのしくみを理解する 第2節 自己実現と尊厳 第3節こころのしくみの基礎	【自己概念】【大脳辺縁系】【適応】【防衛機制】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第7回	第1章 こころのしくみを理解する 第2節 自己実現と尊厳 第3節 こころのしくみの基礎	【適応】【防衛機制】【ヴァイラント】【ライチャード】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第8回	第1章 こころのしくみを理解する 第2章 からだのしくみを理解する 章末テスト	章末テスト	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第9回	第4章 身じたくに関連したしくみ 第1節 みじたくのしくみ	【みじたくの意味】 【顔・眼・耳・鼻・口腔・爪の構造】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第10回	第4章 身じたくに関連したしくみ 第2節 心身の機能低下がみじたくに及ぼす影響 第3節 変化の気づきと対応	【みじたくの意味】 【顔・眼・耳・鼻・口腔・爪の構造】 【意欲の低下・老化】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第11回	第3章 移動に関連したところ とからだのしくみ 第1節 移動のしくみ	【骨】【筋肉】【神経】【姿勢】 【良肢位】【ポジショニング】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習す

			る。 ③授業で理解できたことをノートにまとめる
第12回	第3章 移動に関連したところ とからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が移動 に及ぼす影響 第3節変化の気づきと対応	【廃用症候群・麻痺】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語 を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習 する。 ③授業で理解できたことをノートにま とめる
第13回	第3・4章のテスト 第3章移動のしくみ 事例検討：転倒の事例	【第3章 第4章のまとめテスト】 【グループワーク】	予習90分 復習90分 ①出された課題を個人で完成する。
第14回	第3章 移動のしくみ 事例検討：転倒の要因	【グループワーク】 【3号用紙の作成】	予習90分 復習90分 ①出された課題を個人でグループで完 成する。
第15回	第3章 移動のしくみ 事例検討：転倒の要因 グ グループワークの発表	【グループ発表】	予習90分 復習90分 ①出された課題を個人でグループで完 成する。 ②グループ発表の準備をする。

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	最新 介護福祉士養成講座11 「こころとからだのしくみ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	2,860円
2	書いて覚える！介護福祉士国家試験合格ドリル	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規出版	9784805855225	1,980円

参考書・参考資料等

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験（筆記）	-
学期末試験（レポート）	-
実技テスト	-
授業中のテスト	70%
課題（レポートなど）	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	20%
授業への意欲・姿勢	10%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	パワーポイント作成・プレゼンテーション・発表・評価があります。
備考	実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの理解 A
代表ナンバリングコード	0000221406
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	2 semester (1年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000221406

担当教員		
職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

ディプロマポリシー	
	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	○
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—
本科目の到達目標	① 介護福祉士に必要な精神保健・制度・施策について理解・説明できる。 ② こころとからだの連携について理解を深め、全人的なみかたができる。 ③ 介護に必要とされる医学知識、観察力、判断能力を習得し、他職種、多職種と連携、協働できる。
授業概要	介護福祉の分野では「こころとからだの健康」の保持・増進のために、精神医学および精神保健の双方の知識と考え方を必要とする。精神疾患・障害についての基礎的な知識と精神保健の考え方について学習する。老化やさまざまな疾患、障害などがある利用者に対して、こころとからだの両面から、その連携から、「困りごと」がどのような要因から引き起こされているのか、生活行動にどのようなつながっていくのか、社会や施設でどのように支援・対応していくのかなどにつき考察・理解を深める。

授業計画表			
回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	精神保健概説	【学習法】 【こころとは】 【精神医学と精神保健】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(120分)
第2回	精神保健の基礎 ① 6 心の働きとその理解	【こころの働き】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(120分)
第3回	精神症状の知識	【精神症状とは】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第4回	精神保健の基礎 ② 7~9 精神障害の原因	【精神障害の原因】 【発達】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第5回	精神障害(がいの)の知識 ① 1~2	【器質性精神障害】 【精神作用物質】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第6回	精神障害(がいの)の知識 ② 3~4	【統合失調症】 【気分障害】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)

			る(120分)
第7回	精神障害(がい)の知識 ③ 5~11	【神経症性障害】	復習：履修内容(90分) 予習：第1~7回履修範囲を復習し、小テストの準備をする(180分~)
第8回	ふり返りとまとめ	【小テスト】	復習：履修範囲、小テストでわかりにくかったところ(180分)
第9回	精神障害(がい) 理解と支援	【多職種連携】【精神障害】【地域支援】	予習：地域精神保健について自学自修(120分) 復習：履修内容(90分)
第10回	歯科について知っておいてほしいこと 湖東歯科医師会 講師	【多職種連携】【口腔疾患】【嚥下障害】	予習：介護における嚥下障害、口腔ケアについて自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第11回	リハビリテーションについて知っておいてほしいこと 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター 講師	【多職種連携】【リハビリテーション】	予習：地域・介護でのリハビリテーションについて自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第12回	薬について知っておいてほしいこと 八幡蒲生薬剤師会 講師	【多職種連携】【薬剤】【薬剤管理】【地域支援】	予習：在宅・施設介護において必要とされるくすりの知識について自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第13回	地域医療について知っておいてほしいこと 滋賀県医師会 講師	【多職種連携】【地域保健】【地域医療】	予習：在宅・施設介護において必要とされる医療の知識について自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第14回	地域保健について知っておいてほしいこと 東近江市福祉総合支援課 講師	【多職種連携】【地域福祉】【地域保健】	予習：地域保健において必要とされること、行政との協働について自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第15回	介護保険について知っておいてほしいこと 地域介護 ケアマネジャー講師	【多職種連携】【包括支援】【介護保険】	復習：履修内容(90分) 予習：全回の履修範囲を復習し、定期試験の準備へと向かう(120分~)
第16回	定期試験(筆記)		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	新版 精神保健 第3版	石井厚(監)	医学出版社	9784870551343	2,750円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	40%
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	30%
課題(レポートなど)	30%
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	-
その他	-

評価の方法(詳細)	学期末試験(筆記)、講義中の予習テスト、提出していただいたレポート等を評価し、3者を合わせた総合評価といたします。
履修しておくべきことが望まれる科目	こころとからだのしくみの基礎A
教材費用・実習費用等の負担費用	学外研修が開催でき、研修参加の場合は交通費実費
その他特記事項	<p>反転授業、予習・講義・復習テスト方式で学修、基礎的知識と応用力の定着を図る。多職種の学外講師による講義を予定。課題に対するレポート作成、講師の講義内容へのレポート作成、講師からのフィードバックを通し、考える力、表現する力、多職種と連携する力等の練成をおこないます。他受講者の提出レポートを縦覧し、多様性、チームワーク、リーダーシップ等への理解を深めます。授業内容変更もあります。</p> <p>希望者は精神科病院の見学・研修を予定。</p> <p>「お知らせ」等連絡を学内ポータル「メッセージ」からしています。反転学修・授業用URLは授業時に開示</p>
備考	実務家教員(医師)

シラバス参照

講義名	こころとからだのしくみの理解B
代表ナンバリングコード	0000222404
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3 semester (2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222404

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標	① 介護技術の根拠となる、人体の構造や機能を理解し、説明ができる。 ② 機能低下が及ぼす、さまざまなこころとからだへの影響を予測し、介護サービスの提供における安全への留意ができ、心理的配慮について理解できる。
----------	---

授業概要	移動・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠に関連したこころとからだのしくみ、死にゆく人のこころとからだのしくみについて学習する。関連する章に応じて利用者課題を提供し、問題解決のためのグループワーク・発表などアクティブラーニングを用いた授業を行うこともある。予習は医学用語を調べ、事前にテキストから学んだことを考察するノートの作成。復習として授業を通して学んだことの考察を毎回の課題とする。各章のテストを行い、理解度の確認を行う。
------	--

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション : 第5章 食事に関連したこころとからだのしくみ 第1節 食事のしくみ	【栄養素】【食事バランスガイド】 【1日に必要な栄養素】【水分量】 【接触嚥下の5分類】	予習：①からだの部位や名称をノートにまとめる(90分) 復習：②前期テストの誤りをノートにまとめる(90分)
第2回	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が食事に及ぼす影響	【摂食・嚥下の5分類】【加齢】【病 気】【障害】	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第3回	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	脱水・誤嚥・低栄養	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第4回	第6章 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	入浴の作用・皮膚の機能	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第5回	第6章 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ 第2節 心身の機能障害が入浴・清潔保持に及ぼす影響 第3節 変化の気づきと対応	おむつかぶれ・かゆみ・不慮の事故・入浴の観察ポイント	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第6回	第5章・6章 まとめ 章末テスト	まとめ	予習90分 復習90分 ①第5章6章を復習する。 ②テスト問題でできなかった問題を復習する。

第7回	第7章 排泄に関連したところからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ 第2章心身の影響が排泄に及ぼす影響 第3章 変化の気づきと対応	尿の生成のしくみ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第8回	第7章 排泄に関連したところからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ 第2章心身の影響が排泄に及ぼす影響 演習7-2 「利用者の状態から考える排泄の問題点とその原因」グループワーク 第3章 変化の気づきと対応	排尿困難・尿失禁	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第9回	第7章 排泄に関連したところからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ 第2章心身の影響が排泄に及ぼす影響 演習7-4 「便失禁の原因」グループワーク 第3章 変化の気づきと対応	便の生成・排便のしくみ・プリストール便性状スケール・便秘の種類	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第10回	第8章 休息・睡眠に関連したところからだのしくみ 第1節 休息・睡眠のしくみ	レム睡眠・ノンレム睡眠・睡眠の質	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第11回	第8章 休息・睡眠に関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能が休息・睡眠に及ぼす影響 演習8-2 「快適に眠るための寝室の工夫」グループワーク 第3節 変化に気づくためのポイント	加齢・睡眠障害・睡眠での観察ポイント	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第12回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところからだのしくみ 第1節 人生の最終段階に関する「死」のとりえ方	死のとりえ方・ターミナルケア・リビングウィル・インフォームドコンセント	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第13回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところからだのしくみ 第2節 「死」に対するこころの理解	死生観・受容・グリーフケア	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第14回	第9章 人生の最終段階のケアに関連したところからだのしくみ 第3節終末期から危篤状態、死後のからだの理解 第4節終末期における医療職との連携	バイタルサインの変化・死後のからだの変化・多職種連携	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②授業で理解できたことをレポートにまとめる
第15回	第7・8・9章まとめ 章末テスト	まとめ	予習90分 復習90分 ①第7・8・9章のテストの勉強をする。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格(税込)
1	最新 介護福祉士養成講座11 「こころからだのしくみ」	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	2,860円
2	書いて覚える！介護福祉士国家試験合格ドリル	介護福祉士国家試験合格ドリル編集委員会	中央法規出版	9784805855225	1,980円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験(筆記)	-
学期末試験(レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	80%
課題(レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	20%
その他	-

教材費用・実習費用等の負担費用	テキスト+ドリル代
その他特記事項	グループワーク・パワーポイント作成・発表・評価があります
備考	実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	医療的ケア I
代表ナンバリングコード	0000222501
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222501

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	○
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	—
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。	○
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	—

本科目の到達目標

- ① 喀痰吸引等における基本的知識を身につけることができる。
- ② 喀痰吸引や経管栄養の行為や根拠・目的を理解できる。

授業概要

事前学習としてテキストを読みDVDを視聴する。授業では吸引や経管栄養等の解説を行い、各章終了後に小テストで理解の確認を行う。復習では課題を通して、知識の再確認を行うため毎回ノートを提出する。最終回の確認テストでは9割以上の正解を必要とする。
 喀痰吸引・経管栄養の実施手順では学生が主体的に準備・実施について考え、グループワークを行い、意見交換をする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	1章 医療的ケアを学ぶために	社会福祉士及び介護福祉士法(第2条第1項) 実質的違法阻却 喀痰吸引等	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第2回	2章 喀痰吸引の安全な実施	生活支援と医行為 医師法・保健師・助産師・看護師法 認定特定行為業務従事者	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③原則として医行為ではない行為について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第3回	3章 保健医療制度とチーム医療	チーム医療 業務独占・名称独占 医療的ケアに関連する法律	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。

			③医療保険・介護保険制度や医療を行う職種について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第4回	4章 介護における生活支援と介護の内容	人間の尊厳 介護の倫理 医療の倫理 インフォームド・コンセント	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③日本介護福祉士会倫理綱領について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第5回	5章 健康状態の把握	バイタルサイン 観察	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③年齢によるバイタルサインの正常値を調べて、生活支援技術bを振り返る。④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第6回	5章 健康状態の把握	バイタルサイン 観察	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③施設において応急処置、緊急連絡などの対応について調べてくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第7回	6章 清潔保持と感染予防	感染予防 標準予防策	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③在宅や施設での感染症とは何を示すのか、どのような疾病か調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第8回	6章 清潔保持と感染予防	消毒と滅菌の違い	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③感染症に応じたそれぞれの消毒方法について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第9回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	呼吸器官 ガス交換 正常な呼吸 たんの性状	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③呼吸のしくみや名称について覚えてくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第10回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	呼吸困難 低酸素症 喀痰吸引	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③たんが生じて排泄するしくみやたんが貯留する状態や疾病を調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第11回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	侵襲的人工呼吸器 気管カニューレ	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③人工呼吸器がどのような利用者に使われているのか疾患について学ぶ。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第12回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	非侵襲的人工呼吸器	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③人工呼吸器装着者の呼吸管理や医師・看護職員との連携について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第13回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	喀痰吸引を行っている利用者の気持ち・家族の思い 口腔ケア 小テスト	予習①②③：90分 復習③④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。④口腔ケアについて調べる。
第14回	8章 喀痰吸引の実施手順	喀痰吸引の必要物品 器具・器材の消毒法 吸引圧の調整	予習①②：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。④必要物品の準備や吸引圧の調整ができるように練習する。
第15回	8章 喀痰吸引の実施手順	喀痰吸引の技術 準備・実施・片づけ	予習①②③：90分 復習④⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③吸引のDVDを視聴してくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。⑤浸漬法や乾燥法の違いが言える。
第16回	8章 喀痰吸引の実施手順	口腔内吸引の技術 準備・実施・片づけ・記録	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③口腔内吸引のDVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。

第17回	8章 喀痰吸引の実施手順	鼻腔内吸引 準備・実施・片づけ・記録	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③鼻腔内吸引のDVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第18回	8章 喀痰吸引の実施手順	気管カニューレ内部吸引 準備・実施・片づけ	予習①②③：90分 復習④⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③気管カニューレ内部の吸引DVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出⑤滅菌手袋の装着ができるよう練習する。。
第19回	8章 喀痰吸引の実施手順	気管カニューレ内部の吸引 準備・実施・片づけ 記録	予習①②③：90分 復習⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。⑤滅菌手袋の装着ができるよう練習する。。
第20回	9章 食事と経管栄養	消化器のしくみ 摂食・嚥下の5段階	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第21回	9章 食事と経管栄養	栄養摂取 経管栄養法 胃ろう	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第22回	9章 食事と経管栄養	経鼻経管栄養・腸ろう	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第23回	9章 食事と経管栄養	経管栄養法の種類 経腸栄養剤	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第24回	9章 食事と経管栄養	経管栄養でおこるトラブル・ 異常	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第25回	9章 食事と経管栄養	家族・利用者の気持ち 日常生活におけるケア 小テスト	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第26回	10章 経管栄養の実施手順	経管栄養の必要物品 器具・器材の消毒法	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第27回	10章 経管栄養の実施手順	胃ろうによる経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第28回	10章 経管栄養の実施手順	胃ろうによる経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第29回	10章 経管栄養の実施手順	経鼻経管栄養による経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第30回	10章 経管栄養の実施手順	経鼻経管栄養による経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第31回	10章 経管栄養の実施手順	経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第32回	11章 子どもの医療的ケア	子どもの特徴 医療的ケアが必要な子どもの 特徴	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。

第33回	12章 リスクマネジメントと喀痰吸引等の安全な実施	事故報告書 リスク・マネジメント	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第34回	13章 救急蘇生法	胸骨圧迫・人工呼吸	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第35回	確認テスト		確認テスト 事前学習 確認テストで間違いのあった問題の確認 予習90分 復習90分

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	医療的ケア	柘崎京子・荻原順子 編著	建帛社	9784767933764	2,800円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験 (筆記)	-
学期末試験 (レポート)	-
実技テスト	-
授業中のテスト	60%
課題 (レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	20%
その他	20%

評価の方法 (詳細)	予習・復習ノートは毎回提出し、教員が押印をします。内容や押印数がその他の評価に入ります。
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	A4サイズ40枚ノートを1冊用意して、1回目から予習・復習したノートは毎回授業開始時に提出してください。医療的ケアⅡに進むためには、確認テストで9割以上の得点が必要です。内容に応じてグループワークがあります。
備考	実務家教員(看護師)

シラバス参照

講義名	医療的ケアⅡ
代表ナンバリングコード	0000222502
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(健康福祉)
配当年次	4 semester (2年次秋学期)
受講者制限	健康福祉コース

所属名称	ナンバリングコード
ライフデザイン学科健康福祉コース	0000222502

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	渡邊 美菜子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	角田 美千代	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

ディプロマポリシー

	重要度
① 家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。	—
② 健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。	○
③ 健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協働しながら思考することができる。	—
④ 健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。	—
⑤ 健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。	○

本科目の到達目標	① 吸引や経管栄養における基本的知識を身につけ、吸引や経管栄養の根拠や目的を理解できる。 ② 吸引や経管栄養を安全に行うための技術を習得できる。
授業概要	この演習は医療的ケアⅠの筆記試験に合格した人が対象となる。 口腔内吸引・鼻腔内吸引・気管カニューレ内吸引・胃ろう・経鼻経管栄養を項目ごと1日(4コマ)で4回演習し、5回目には実技試験を行う。実技試験の合格は全過程を一人で全てできることが必要である。事前学習としてDVDの視聴やオリエンテーションに参加し自主練習にて手技を確認する必要がある。復習として手順の注意点を踏まえレポート(ノート)を作成する。 口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内吸引・胃ろう・経鼻経管栄養・救急救命法とそれぞれ各項目を1日で終了する演習スタイルである。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	口腔内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習 予習90分 復習90分
第2回	口腔内吸引		

第3回	口腔内吸引		
第4回	口腔内吸引		
第5回	鼻腔内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習 予習90分 復習90分
第6回	鼻腔内吸引		
第7回	鼻腔内吸引		
第8回	鼻腔内吸引		
第9回	気管カニューレ内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習 予習90分 復習90分
第10回	気管カニューレ内吸引		
第11回	気管カニューレ内吸引		
第12回	気管カニューレ内吸引		
第13回	喀痰吸引のまとめ		不合格項目の自主練習(120分) 演習後の考察(60分)
第14回	喀痰吸引のまとめ		
第15回	喀痰吸引のまとめ		
第16回	喀痰吸引のまとめ		
第17回	胃ろうによる経管栄養法	医師の指示書・必要物品・観察・利用者への説明・1分間の滴下数の計算・クレンメの調整・報告・連絡・記録	胃ろうのDVDの視聴する。 PEG部位の解剖・観察項目・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 経管栄養の組み立てや滴下数の計算ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、経管栄養法技術の自主練習 予習：(90分) 復習：(90分)
第18回	胃ろうによる経管栄養法		
第19回	胃ろうによる経管栄養法		
第20回	胃ろうによる経管栄養法		
第21回	経鼻経管栄養	医師の指示書・必要物品・観察・利用者への説明・1分間の滴下数の計算・クレンメの調整・報告・連絡・記録	経鼻会館栄養法のDVDの視聴する。 チューブ挿入部位の解剖・観察事項・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 経管栄養法の組み立てや1分間の滴下数の計算ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、経管栄養法の技術の自主練習 予習90分 復習90分
第22回	経鼻経管栄養		
第23回	経鼻経管栄養		
第24回	経鼻経管栄養		
第25回	経管栄養法まとめ		不合格項目の自主訓練 予習120分 演習後の考察をノートに記入 復習60分
第26回	経管栄養法まとめ		

	め		
第27回	経管栄養法まとめ		
第28回	経管栄養法まとめ		
第29回	救急救命法	胸骨圧迫・人工呼吸法	テキストを読み、DVDを視聴する。 演習の手順を予習する。 演習後の考察を記入する。 予習90分 復習90分
第30回	救急救命法		

テキスト

	テキスト名	著者名	出版社	ISBN (ハイフンなし)	価格 (税込)
1	医療的ケア	柘崎京子・荏原順子 編著	建帛社	9784767933764	2,800円

参考書・参考資料等

--

上記到達目標の評価の方法

	割合
学期末試験 (筆記)	-
学期末試験 (レポート)	-
実技テスト	60%
授業中のテスト	-
課題 (レポートなど)	-
各回のコメントシート	-
発表・プレゼンテーション	-
授業への意欲・姿勢	30%
その他	10%

評価の方法 (詳細)	実技テスト・実施前・中・後の注意点や考察 (ノート) ・チームワークが評価に入ります。
履修しておくべきことが望まれる科目	医療的ケア I 取得必修
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	医療的ケア I で使用したノートに予習をして当日に持参する。演習中後は指導や演習後の考察を記入します。 演習前にオリエンテーションを行います。詳しい日程、時間は掲示版で確認してください。 各自、空き時間を使用して自主練習を行い、当日9時より演習に臨んでください。演習が円滑にできるよう、準備や片づけを行うためにはチームワークが必要です。
備考	実務家教員 (看護師)

[ウィンドウを閉じる](#)